

日本全国での 県境をまたぐ移動に関する 人流分析レポート

KDDI株式会社
(分析協力 : ARISE analytics)

2021年1月15日



本調査の目的

1

■ 本調査の目的

県境をまたぐ移動に関して、全国・1都3県・東京都・各地観光地スポットの人流がどう変化したのかを調査しました。

1. 感染拡大前から2021年1月までの推移
2. 全国の人流傾向 <年末年始・1月連休>
3. 東京都の人流傾向 <年末年始・1月連休>
4. 各地観光地スポットの人流傾向
 - ①函館駅 ②浅草雷門 ③箱根湯本駅 ④伊勢神宮 ⑤道後温泉

- ※ GPSによる情報取得へ個別に同意いただいた方のデータに基づくため、エリアによっては、推計のブレ幅が大きくなる場合がございます。
- ※ 本資料に含まれるデータおよびグラフなどを二次利用される際はクレジットの記載をお願いします。
例) データ提供 : KDDI株式会社





KDDIの位置情報データについて

auスマートフォンの位置情報ビッグデータです。個別に明確な同意を頂いたユーザーデータのみを活用しています。

この位置情報データに対し契約者属性を紐づけ、性・年代等の分析を可能にします。また、高精度なGPS位置情報データを用いているので正確、詳細な分析を実現します。

※位置情報ビッグデータとは、KDDIがauスマートフォンユーザー同意のもとで取得し、誰の情報であるかわからない形式に加工した位置情報データおよび属性情報（性別・年齢層）を指します。





- 「位置情報ビッグデータ」とは、KDDI株式会社と沖縄セルラー電話株式会社（以下「当社」）がお客さまから個別に同意を得た上で取得し、誰の情報であるかわからない形式に加工した位置情報データおよび属性情報です。
- 当社は、お客さまのプライバシーの重要性を認識し、その保護をはかるため、当社プライバシーポリシーを遵守する他、各サービスにおいてそれぞれ適切なプライバシー保護の取り組みを実施しております。詳細は以下KDDI「位置情報ビックデータの活用」をご参照下さい。

<https://www.kddi.com/corporate/kddi/public/bigdata/>

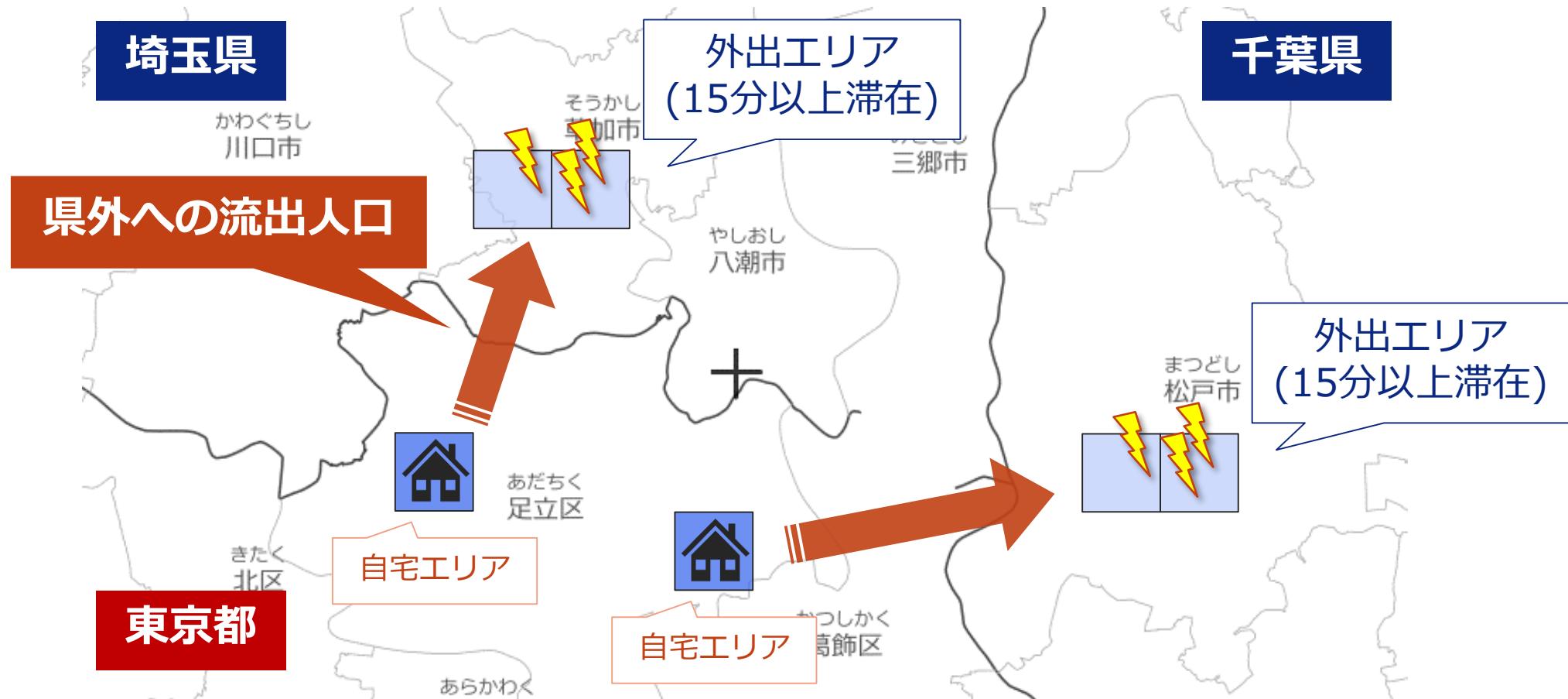




県外への流出人口の集計方法

4

居住地がある都道府県から別の都道府県へ往訪した場合に県境をまたぐ移動と判定^{*1}し、居住地がある都道府県から見た「県外への流出人口」として集計した。



出所：国土地理院HPより引用 (<https://maps.gsi.go.jp/>)

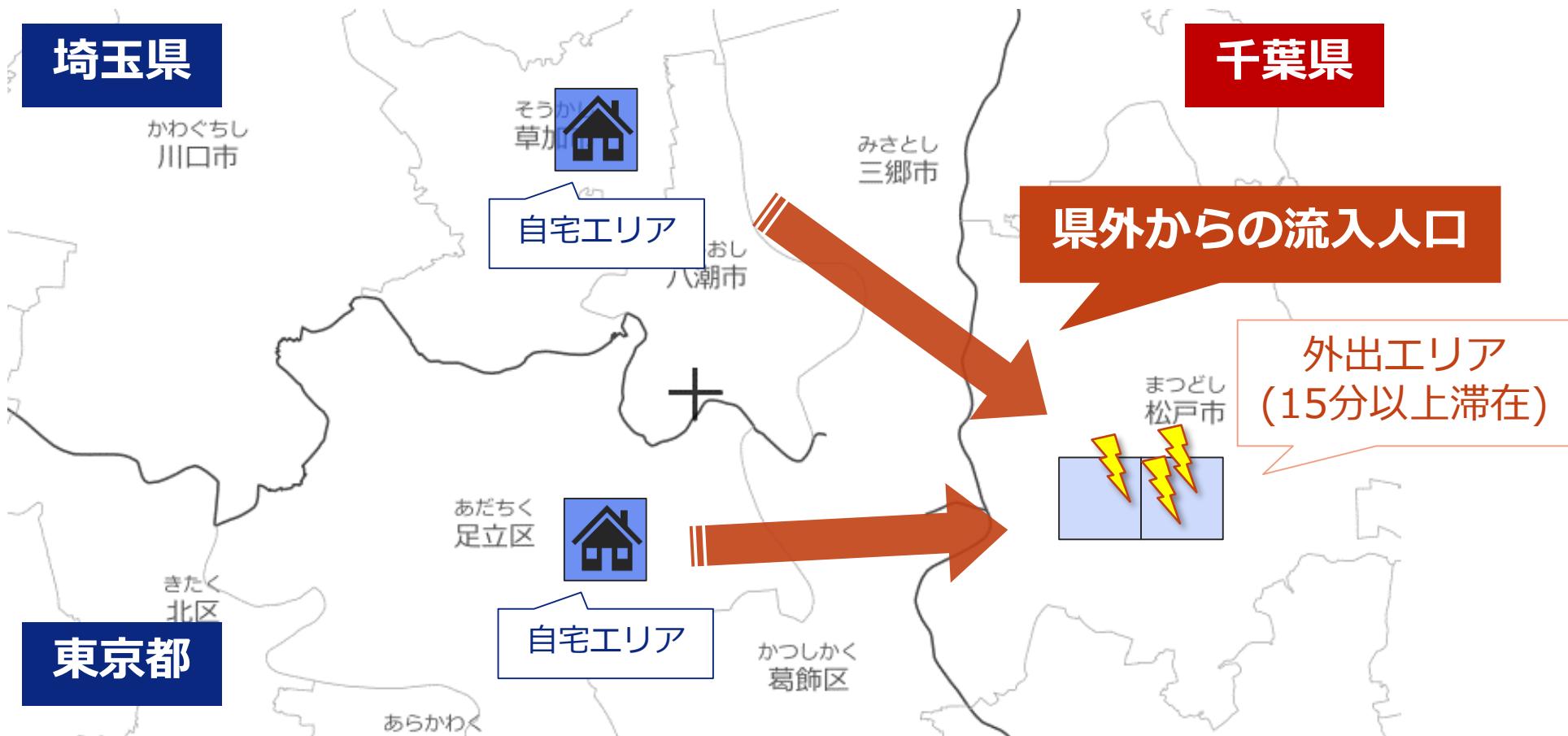
*1：往訪した都道府県内で15分以上滞在





県外からの流入人口の集計方法

居住地がある都道府県から別の都道府県へ往訪した場合に県境をまたぐ移動と判定^{*1}し、外出先の都道府県から見た「県外からの流入人口」として集計した。





1. 感染拡大前から2021年1月までの推移

- 今年の年末年始は、前年年末年始比**全国平均38.7%減少**

2. 全国の人流傾向＜年末年始・1月連休＞

- 全ての都道府県で、年末年始および1月連休の流出入人口は**減少**

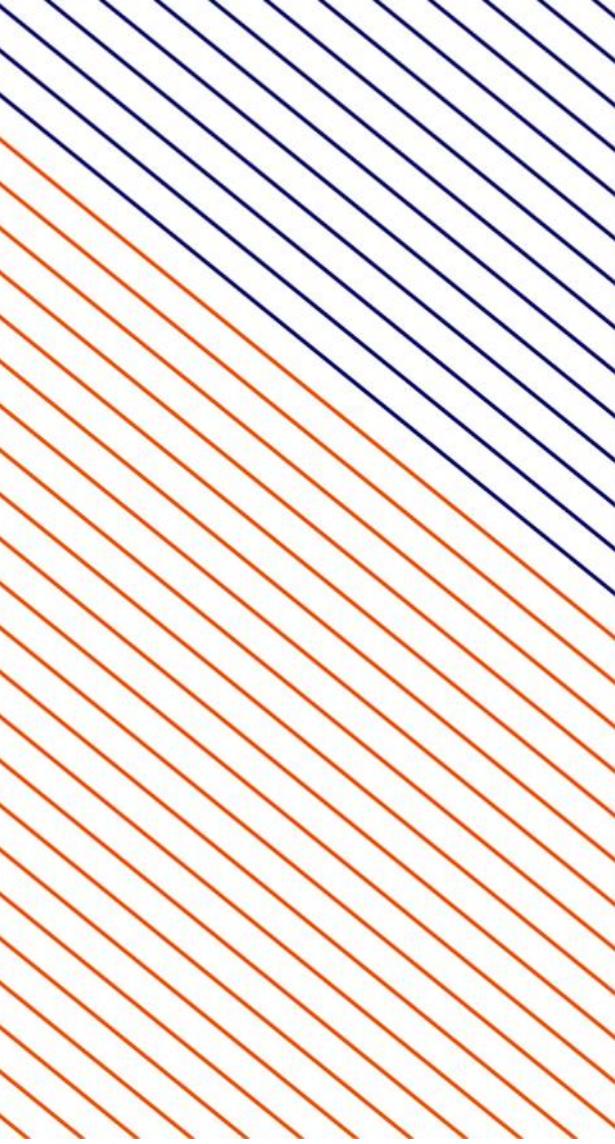
3. 東京都の人流傾向＜年末年始・1月連休＞

- 神奈川県・千葉県・埼玉県以外の県と東京都間の流出入人口が**大きく減少**

4. 各地観光地スポットの人流傾向

対象スポット		対前年比		
		Total	県内	県外
北海道	函館駅前周辺	▲30.2%	▲19.7%	▲63.8%
東京都	浅草雷門周辺	▲46.2%	▲17.3%	▲73.8%
神奈川県	箱根湯本駅周辺	▲21.4%	▲6.7%	▲37.5%
三重県	伊勢神宮周辺	▲51.9%	▲30.1%	▲60.5%
愛媛県	道後温泉周辺	▲24.4%	0.8%	▲62.3%





1. 感染拡大前から2021年1月 までの推移





1 – 1. 県外への流入人口増減率まとめ

今年の年末年始は、**前年年末年始と比べて全国平均38.7%減少**していた。全国平均を比べると、1都3県はやや人出が多く、その他道府県はより人出が少なかった。

		県外への流入人口増減率(今年年末年始：2020/12/29～2021/1/3)				
		対 前年年末年始比	対 GW比	対 盆比	対 SW比	対「勝負の3週間」比
流出	関東1都3県 平均	▲ 36.6%	+79.4%	▲ 9.5%	▲ 20.8%	▲ 5.5%
	その他道府県 平均	▲ 40.2%	+65.9%	▲ 9.0%	▲ 26.1%	+7.1%
流入	関東1都3県 平均	▲ 33.3%	+51.6%	▲ 11.4%	▲ 22.8%	▲ 22.7%
	その他道府県 平均	▲ 41.1%	+83.2%	▲ 8.1%	▲ 24.5%	+19.8%
流出入 全国平均		▲ 38.7%	+71.4%	▲ 9.2%	▲ 24.0%	+1.3%

* : 前年年末年始期間：2019/12/29～2020/1/3、GW期間：2020/4/29～5/6、
盆期間：2020/8/8～8/16、SW期間：2020/9/19～9/22、「勝負の3週間」期間：2020/11/25～12/16

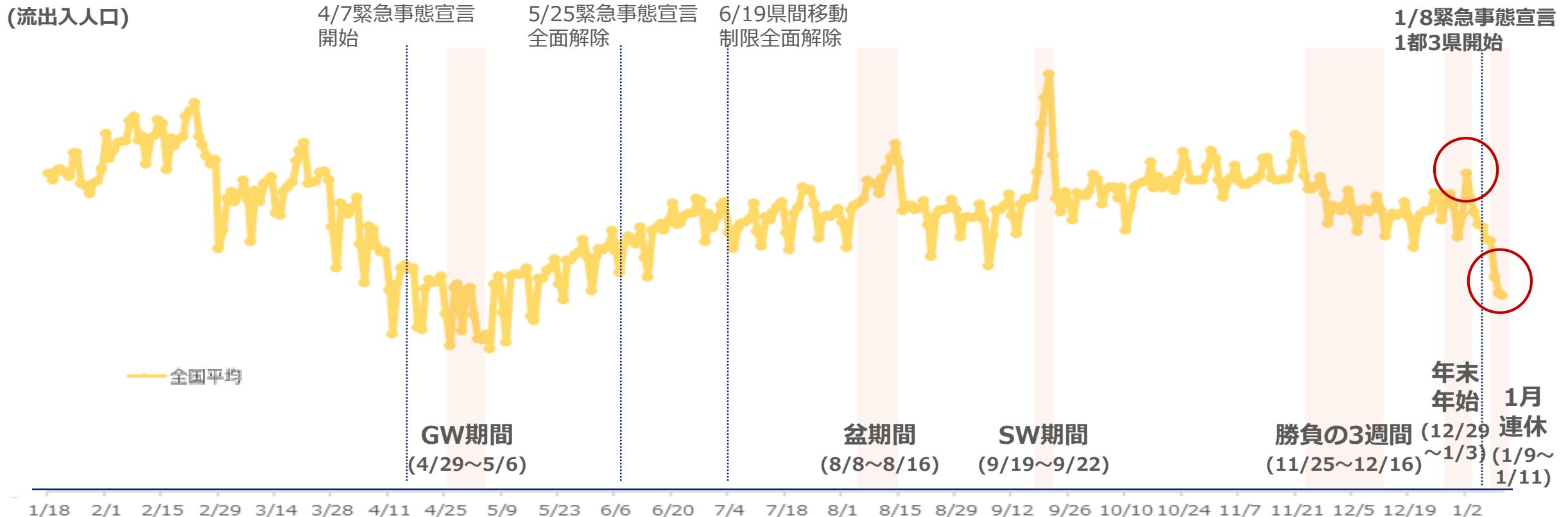




1 – 2. 県外への流出入人口の推移 | 全国

全国の流出入人口を見ると、年末年始に特に大きな流出入のピークはなかった。1都3県への緊急事態宣言後にあった1月連休は、全国的に流出入が大きく減少していた。

県外への流出入人口の推移(全国)



* : 推移 : 2020/1/18~2021/1/11

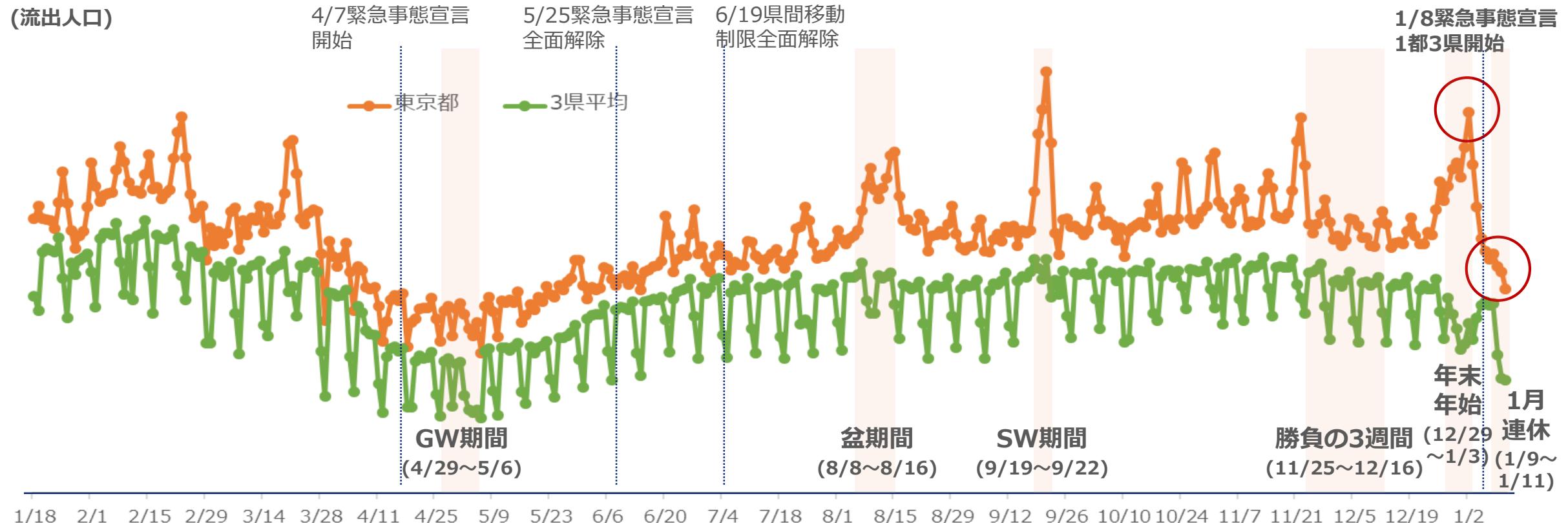


1 – 3. 県外への流出人口の推移 | 1都3県

10

1都3県の流出人口を見ると、年末年始に東京都から都外への流出が多くなったが、1都3県への緊急事態宣言後は大きく減少していた。

県外への流出人口の推移(1都3県)



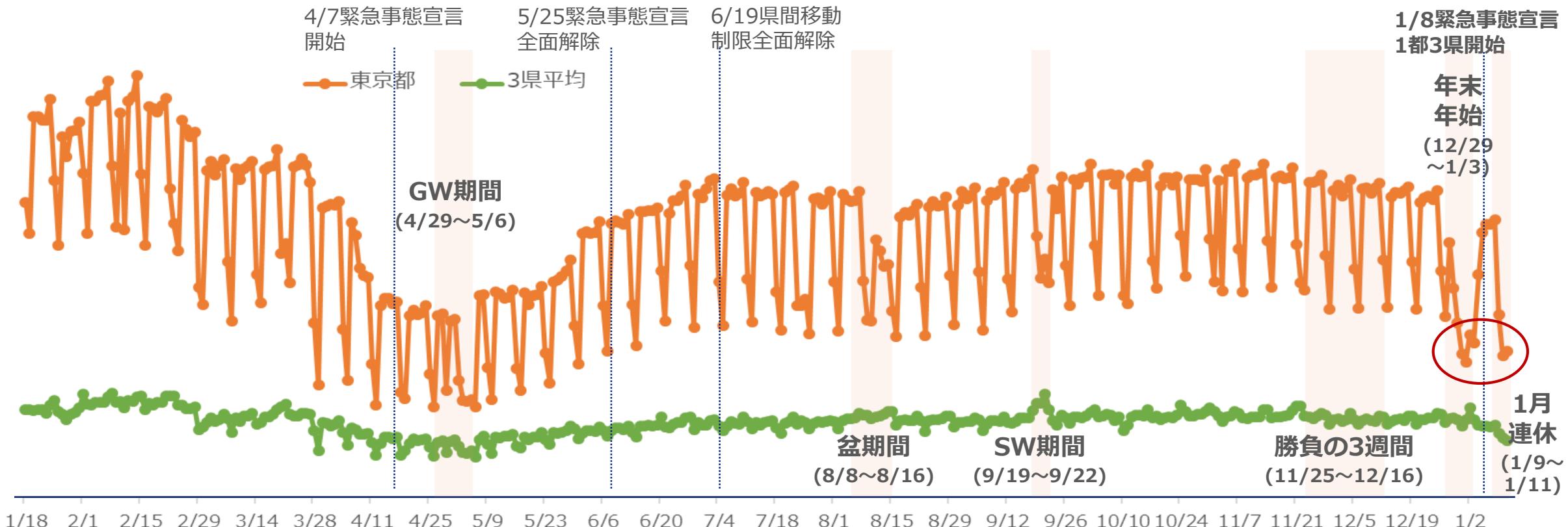
* : 推移 : 2020/1/18~2021/1/11



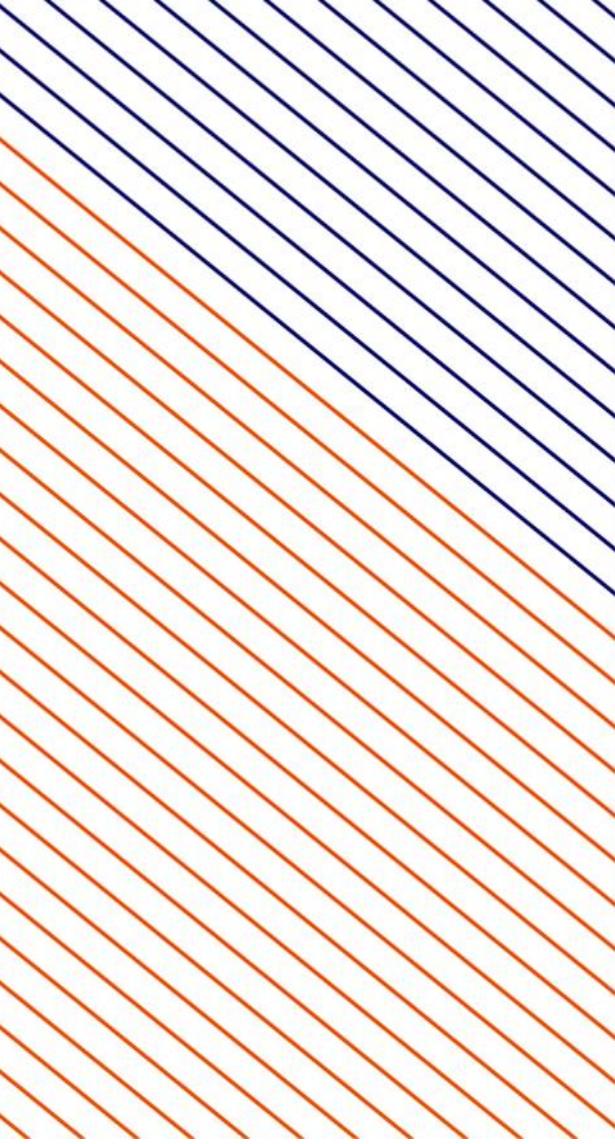
1 - 4. 県外からの流入人口の推移 | 1都3県

1都3県の流入人口を見ると、年末年始と1月連休に東京都への流入が大きく減少していた。

県外からの流入人口の推移(1都3県)



* : 推移 : 2020/1/18~2021/1/11



2. 全国の人流傾向 ＜年末年始・1月連休＞



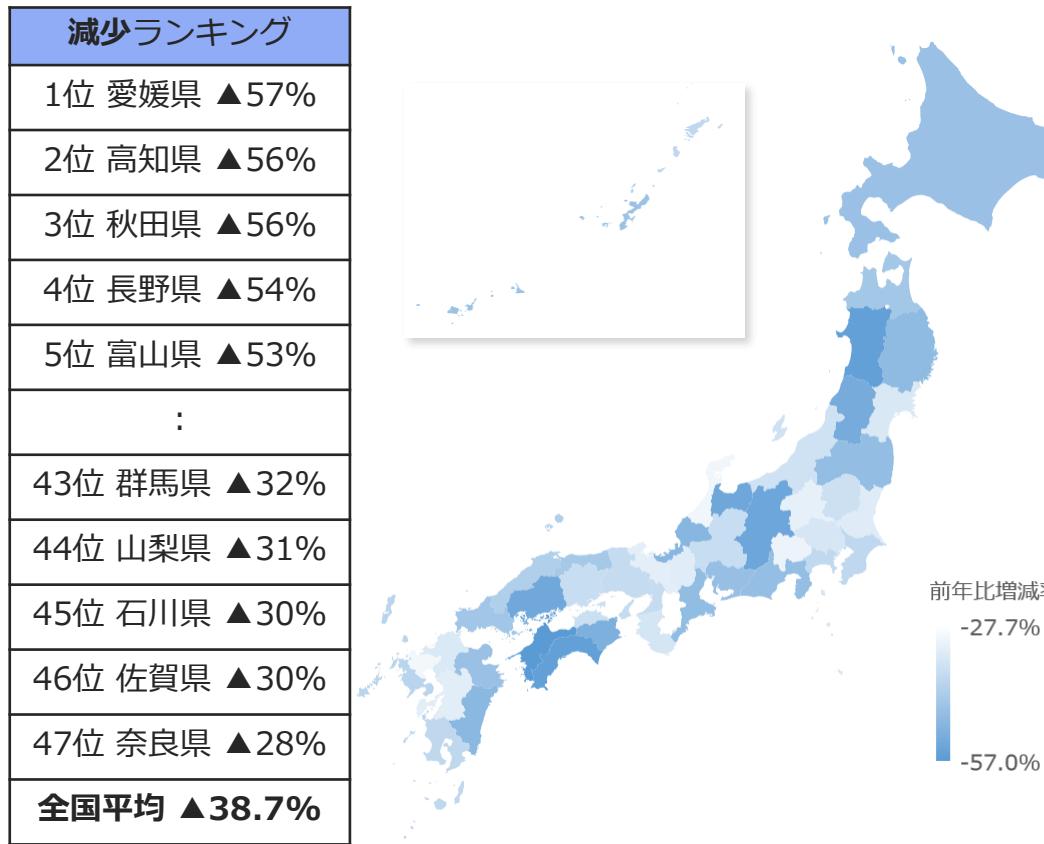


2 – 1. 県外への流出人口の変化（対前年比）

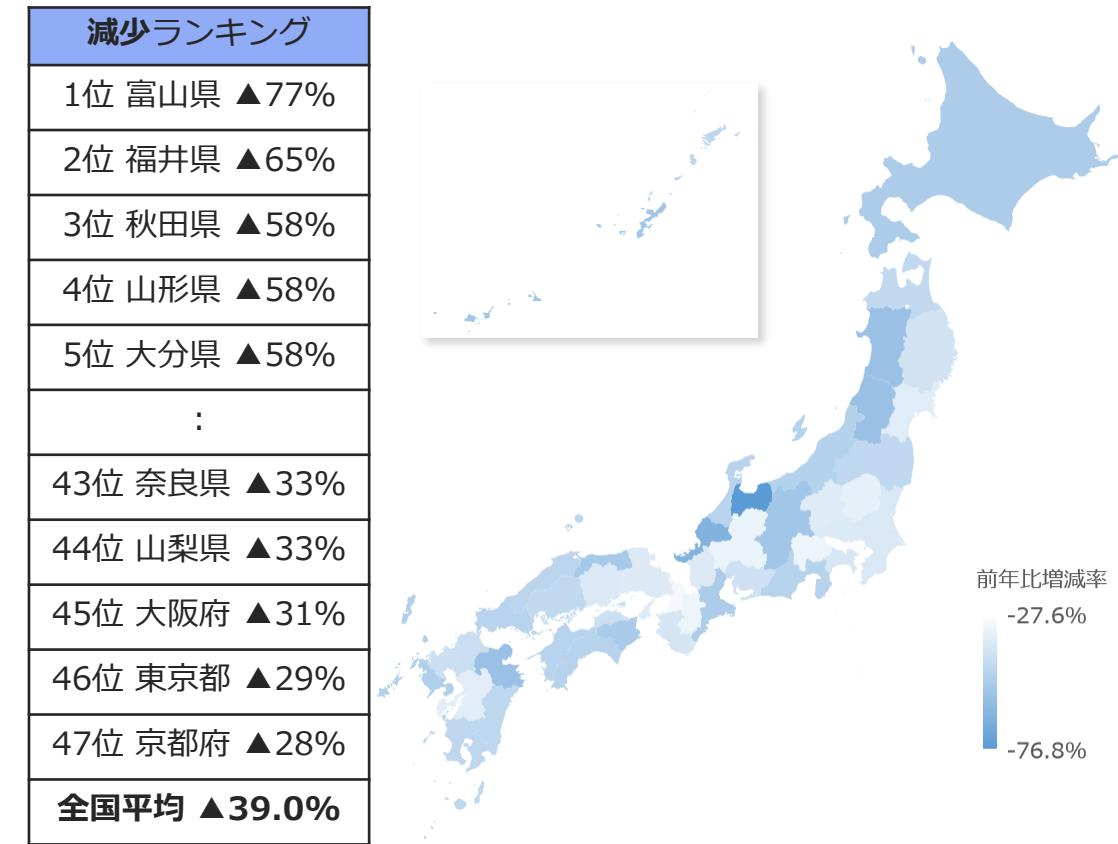
13

年末年始と1月連休の流出人口とともに、**全ての都道府県で前年比減少**していた。年末年始と1月連休の全国平均は同程度で、ともに県外への移動を自粛している様子がうかがえる。

<年末年始> 都道府県別の流出人口増減率



<1月連休> 都道府県別の流出人口増減率



* : 年末年始期間：前年2019/12/29～2020/1/3、今年2020/12/29～2021/1/3
1月連休期間：前年2020/1/11～2020/1/13、今年2021/1/9～2021/1/11

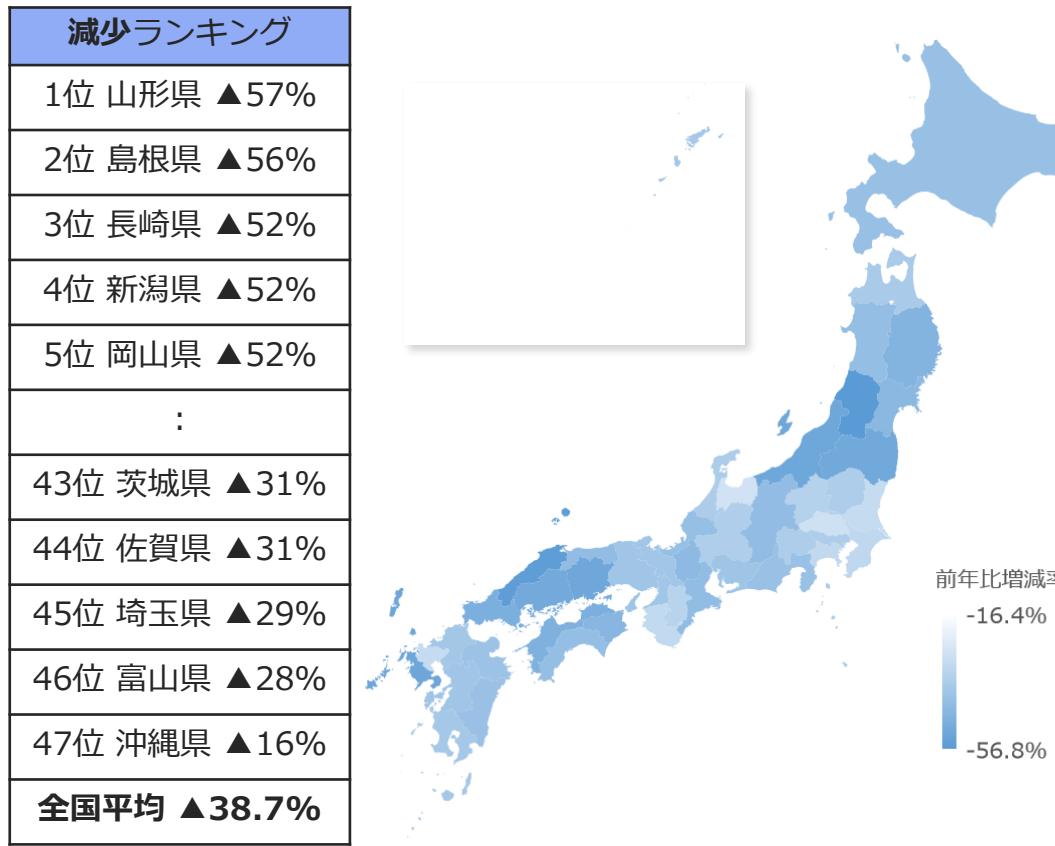




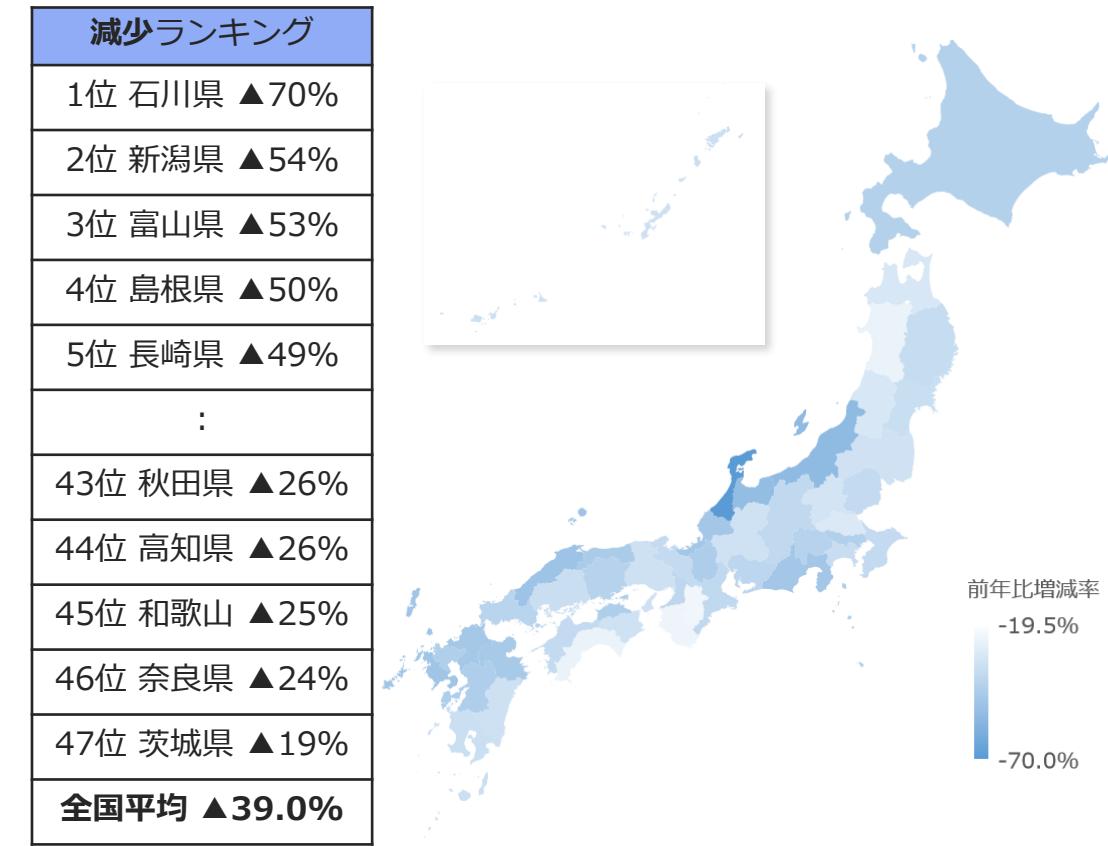
2 – 2. 県外からの流入人口の変化（対前年比）

年末年始と1月連休の流入人口とともに、**全ての都道府県で前年比減少**していた。年末年始と1月連休の全国平均は同程度で、ともに県外への移動を自粛している様子がうかがえる。

<年末年始> 都道府県別の流入人口増減率

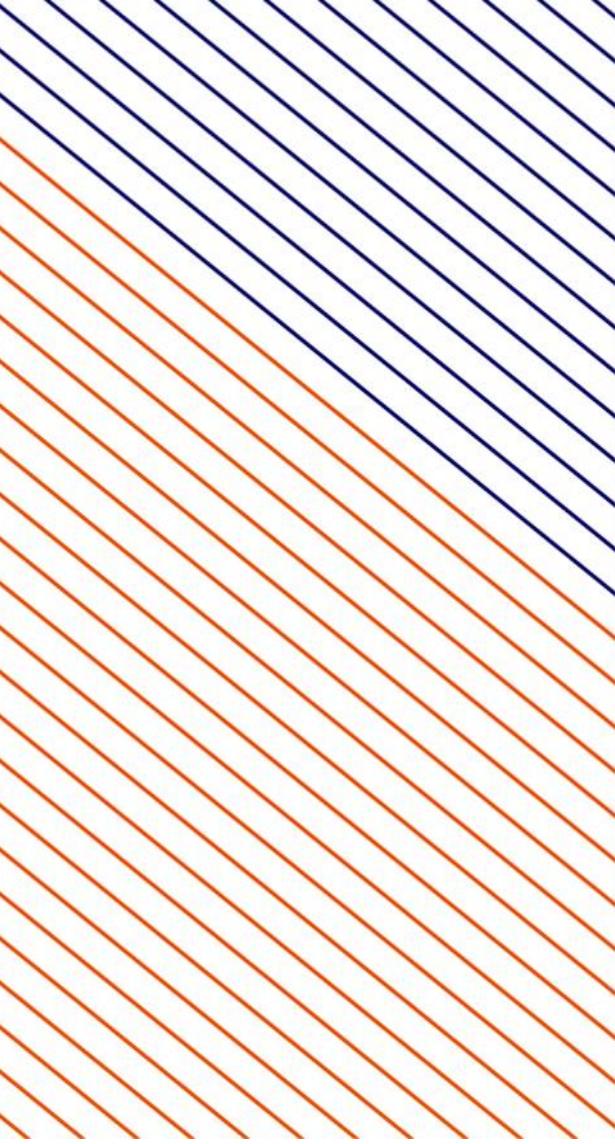


<1月連休> 都道府県別の流入人口増減率



* : 年末年始期間：前年2019/12/29～2020/1/3、今年2020/12/29～2021/1/3
1月連休期間：前年2020/1/11～2020/1/13、今年2021/1/9～2021/1/11





3. 東京都の人流傾向

<年末年始・1月連休>



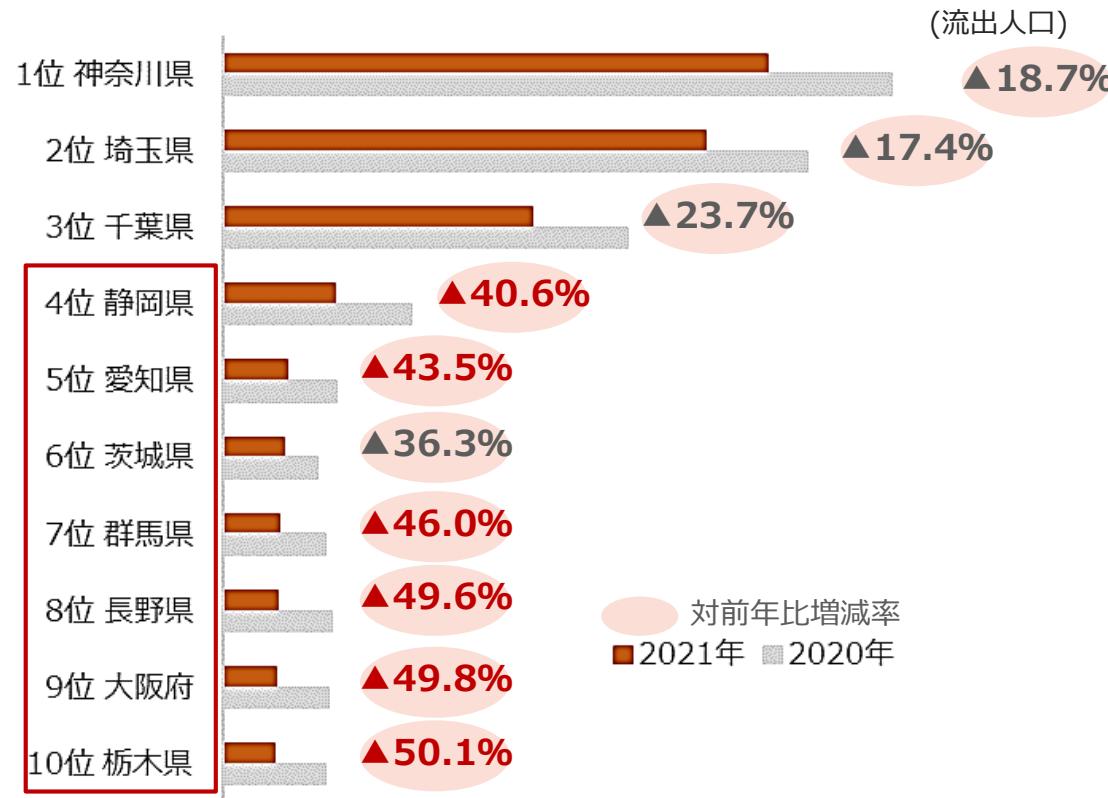


3 – 1. 東京都からの流出傾向：流出先

16

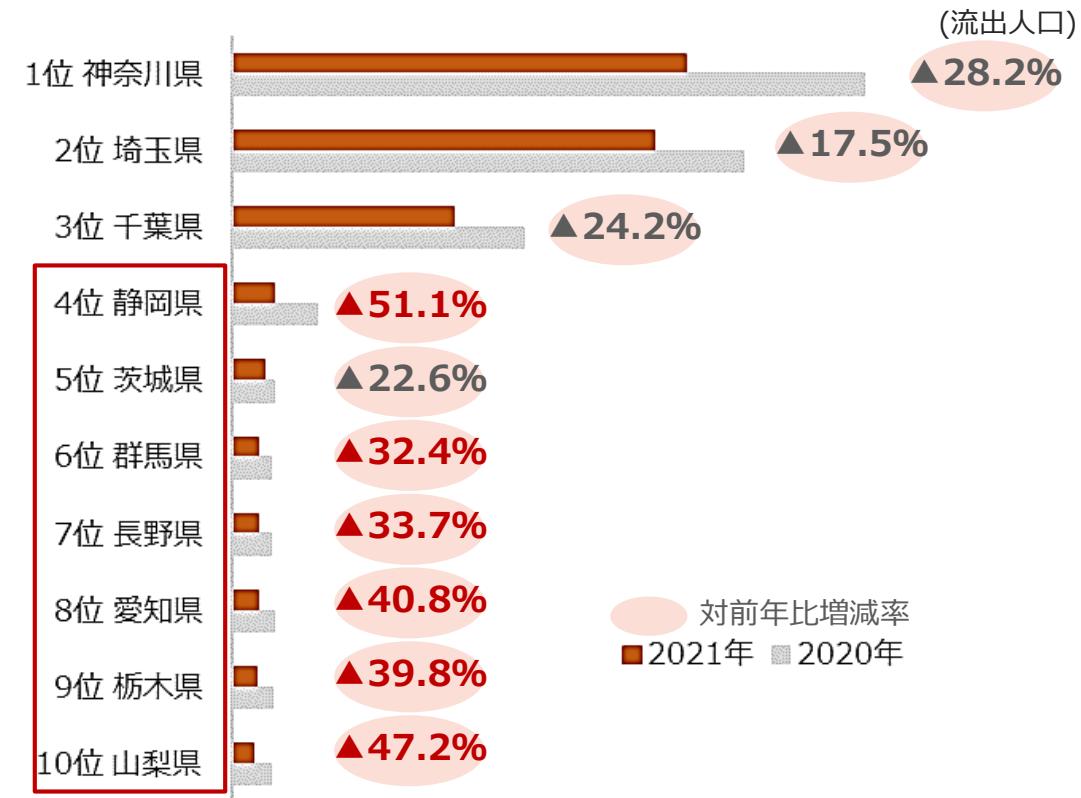
東京都からの流出人口が多い都道府県に注目すると、年末年始と1月連休ともに前年比減少していた。特に神奈川県・千葉県・埼玉県以外の県と東京都間の流出人口が大きく減少。

〈年末年始〉 東京都からの主な流出先TOP10



注) 赤字は増減率▲40%以下

〈1月連休〉 東京都からの主な流出先TOP10



* : 年末年始期間：前年2019/12/29～2020/1/3、今年2020/12/29～2021/1/3
1月連休期間：前年2020/1/11～2020/1/13、今年2021/1/9～2021/1/11



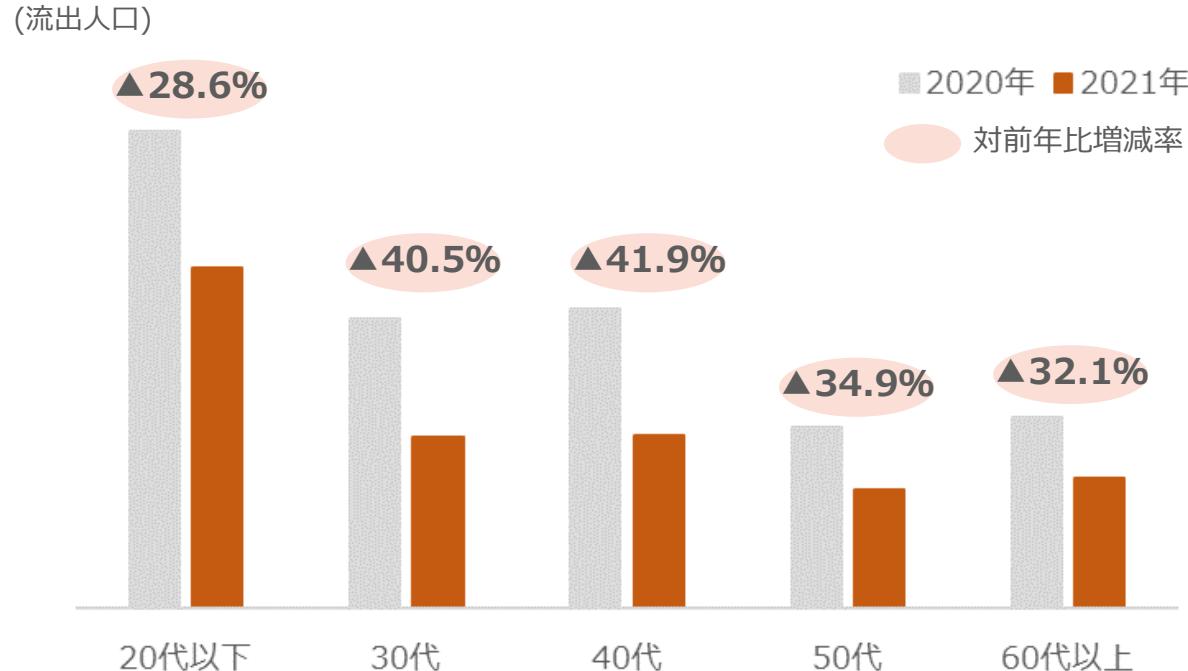


3 – 2. 東京都からの流出傾向：年代

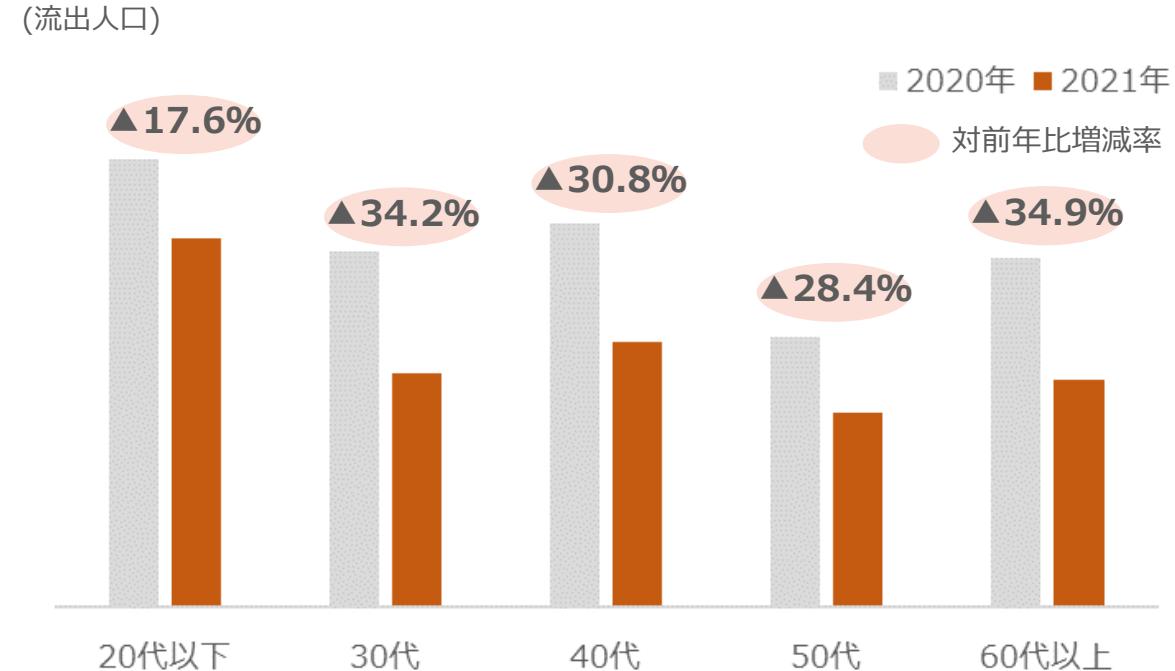
17

東京都からの年代別流出人口は、年末年始と1月連休とともにすべての年代で減少した。

<年末年始> 東京都からの年代別流出人口



<1月連休> 東京都からの年代別流出人口



* : 年末年始期間：前年2019/12/29～2020/1/3、今年2020/12/29～2021/1/3
1月連休期間：前年2020/1/11～2020/1/13、今年2021/1/9～2021/1/11



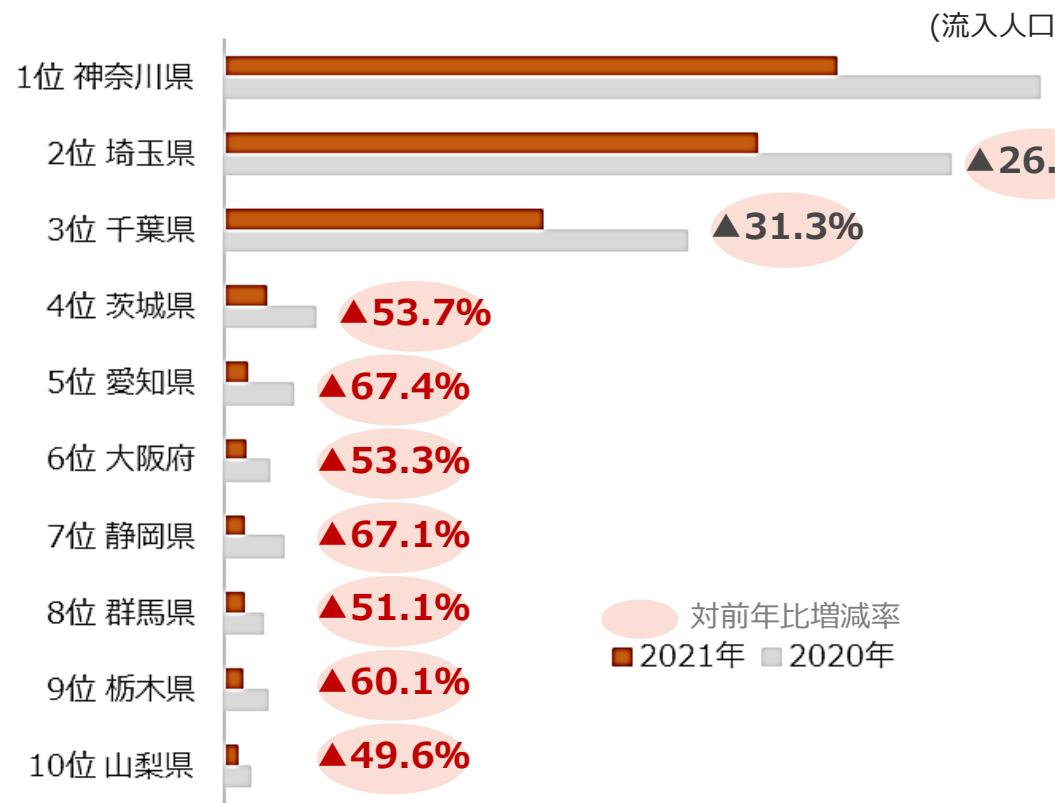


3 – 3. 東京都への流入傾向：流入元

18

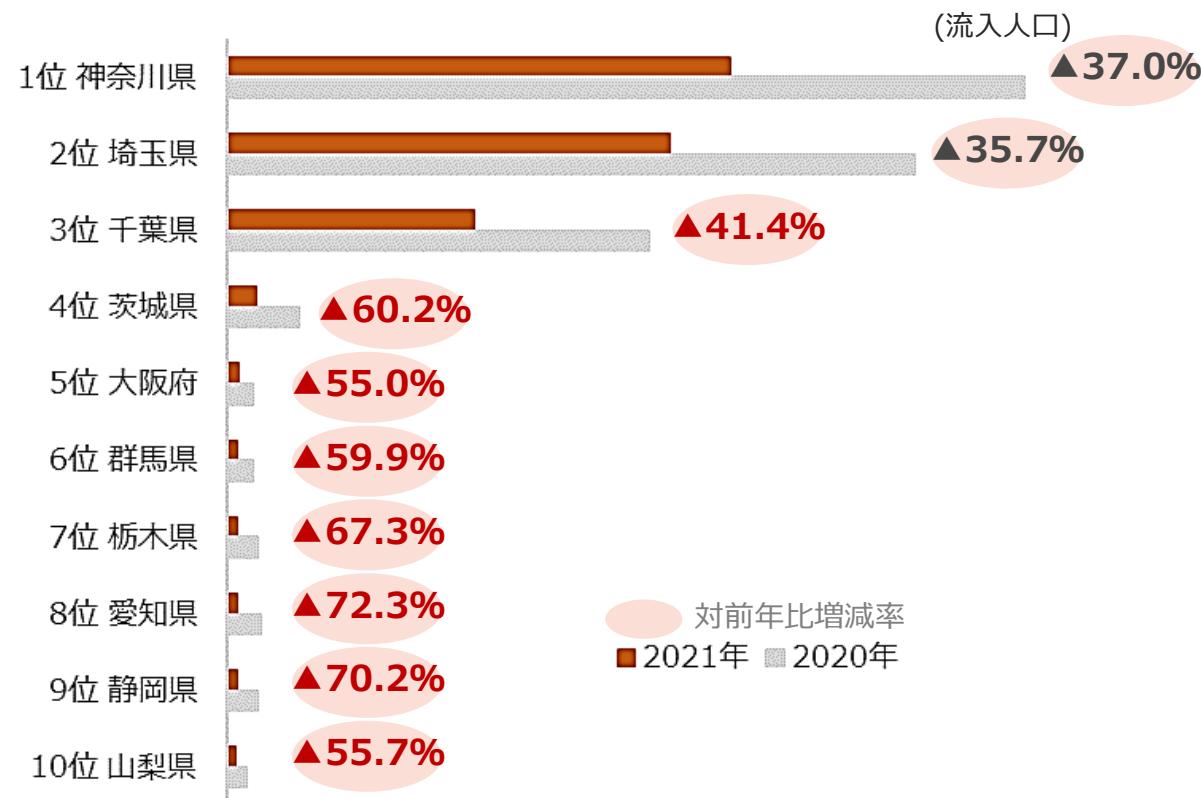
東京都からの流入人口が多い都道府県に注目すると、年末年始と1月連休ともに前年比減少している。また、神奈川県・埼玉県以外の県と東京都間の流入人口が大きく減少。

<年末年始> 東京都への主な流入元TOP10



注) 赤字は増減率▲40%以下

<1月連休> 東京都への主な流入元TOP10



* : 年末年始期間：前年2019/12/29～2020/1/3、今年2020/12/29～2021/1/3
1月連休期間：前年2020/1/11～2020/1/13、今年2021/1/9～2021/1/11

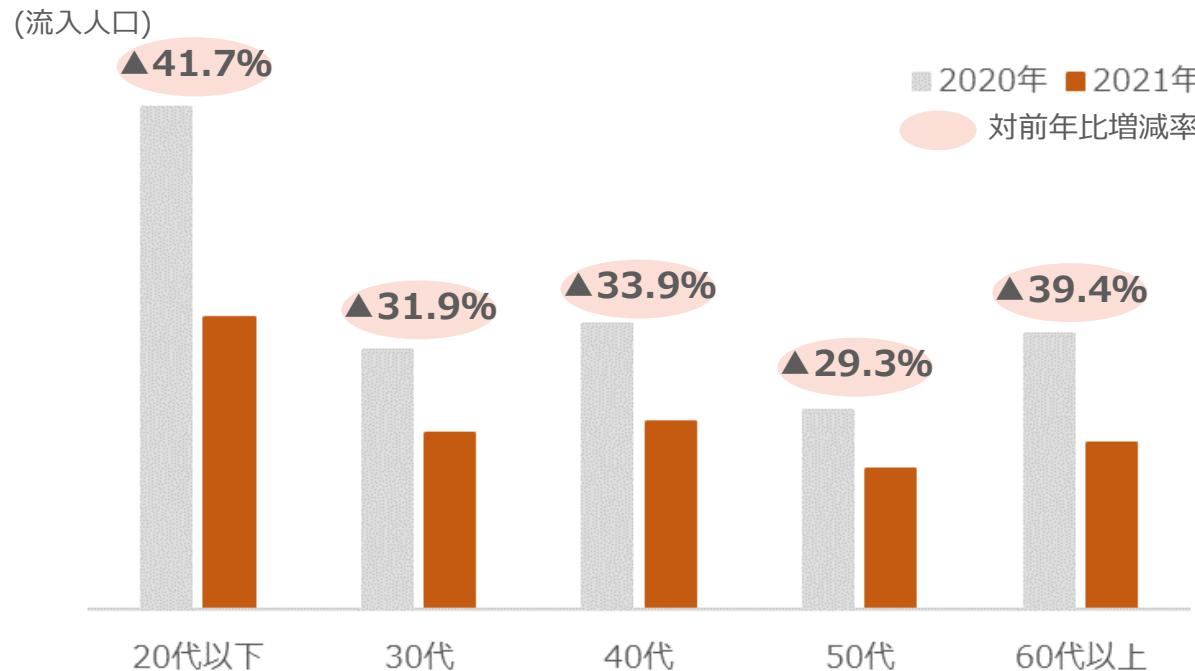




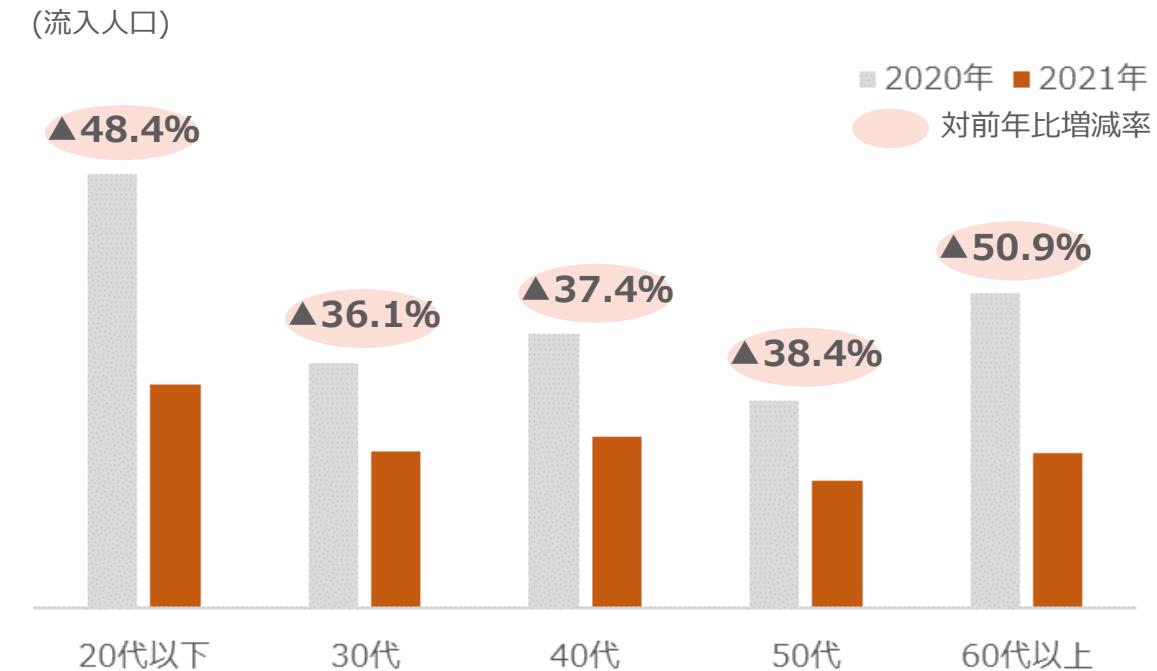
3 – 4. 東京都への流入傾向：年代

東京都への年代別流入人口は、年末年始と1月連休とともにすべての年代で減少した。

<年末年始> 東京都への流入人口の年代

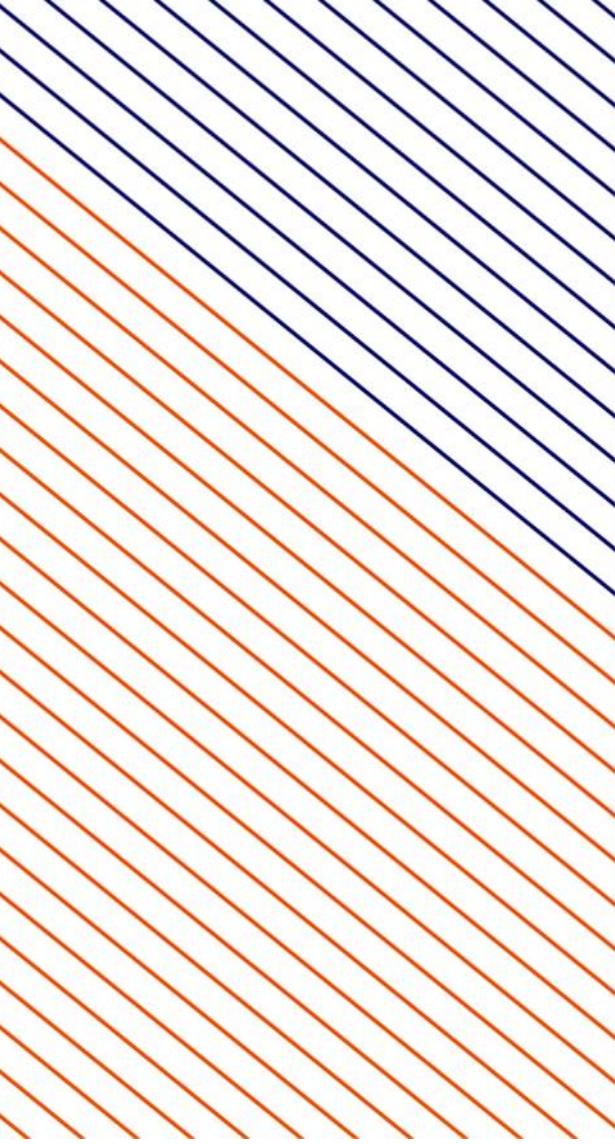


<1月連休> 東京都への流入人口の年代



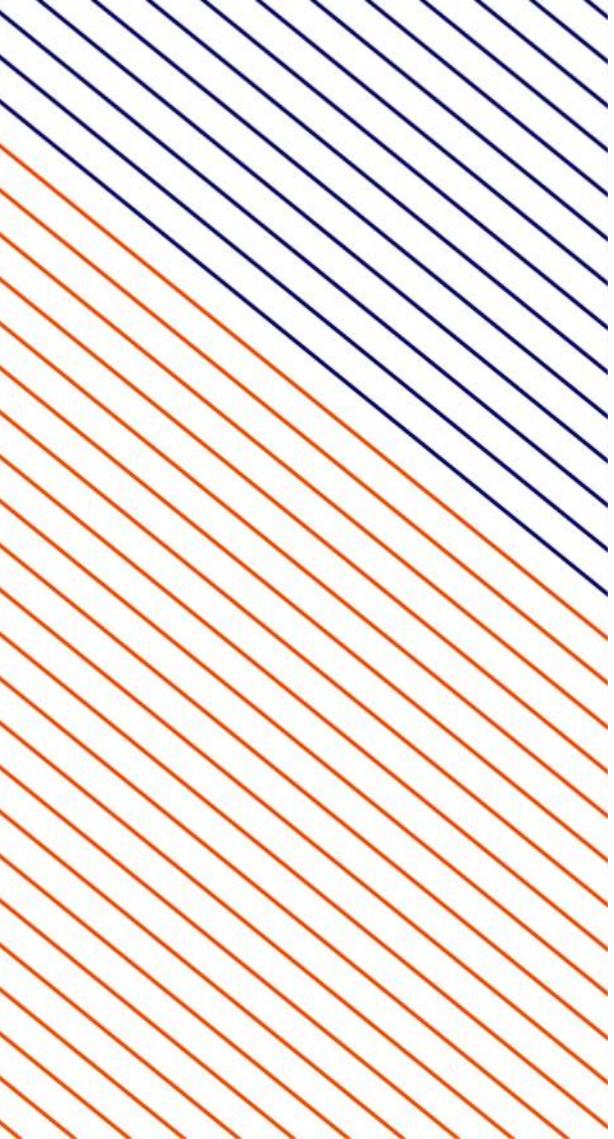
* : 年末年始期間：前年2019/12/29～2020/1/3、今年2020/12/29～2021/1/3
1月連休期間：前年2020/1/11～2020/1/13、今年2021/1/9～2021/1/11





4. 各地観光地スポットの人流傾向





4 – 1. 函館駅前周辺 (北海道函館市)





函館駅周辺の集計範囲およびその他情報

22

函館駅周辺における集計エリアは地図上の赤枠箇所を対象とした。

集計対象エリア



※集計対象エリアはKLAの「フリーハンド」で指定

集計情報

集計期間

前年：2019/12/29～2020/1/11
今年：2020/12/29～2021/1/11

集計対象者

対象エリアに来訪し
15分以上滞在

集計単位

1日単位

集計方法

全人口の拡大推計値に変換





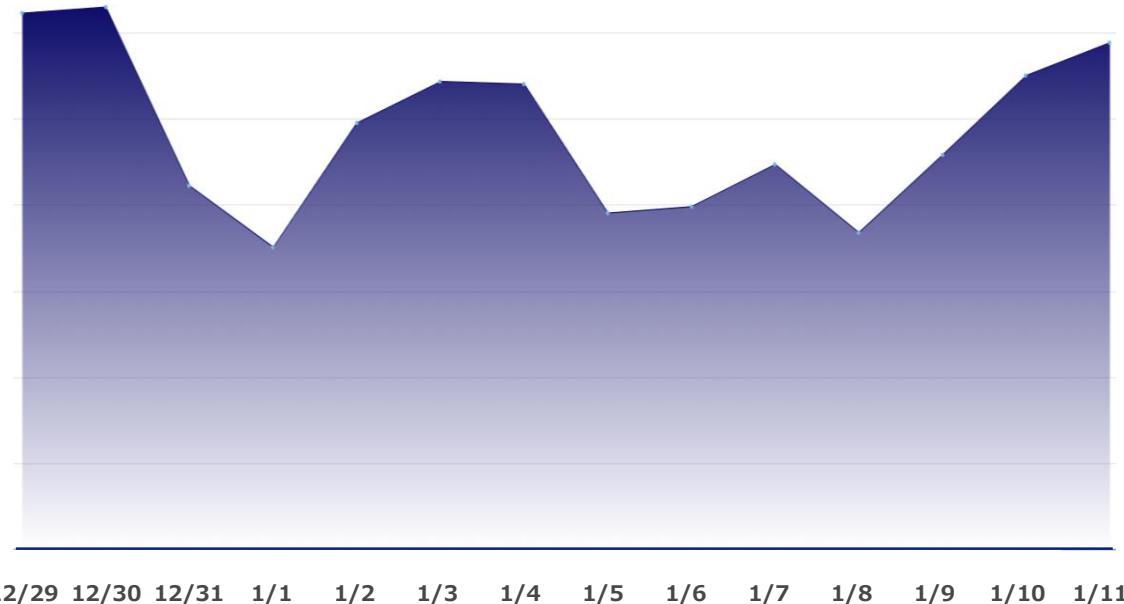
函館駅周辺における人流推移

23

函館駅周辺を前年と比較すると、**来訪者全体で30.2%減、また道外からの来訪者が63.8%減と大幅に減少**していた。

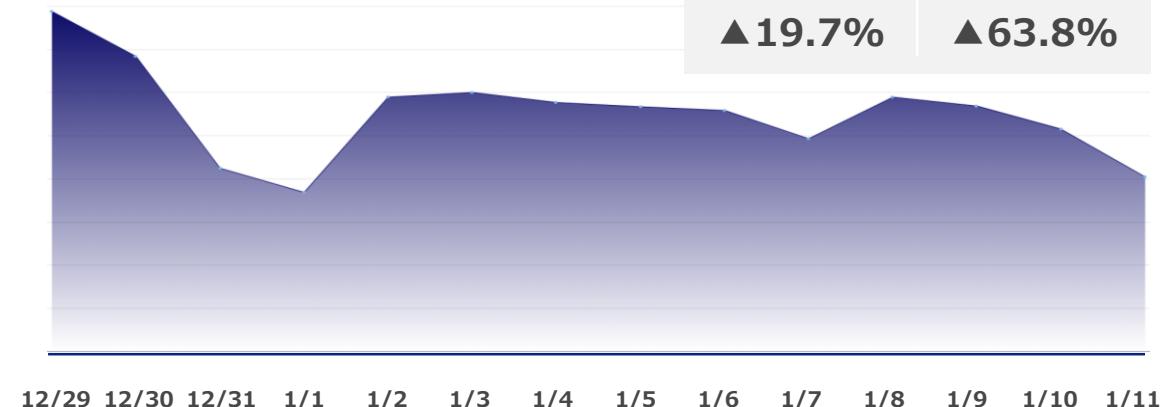
2020年

(人数)



2021年

(人数)



対前年比^{*1}

▲30.2%

道内^{*2}

▲19.7%

道外^{*2}

▲63.8%

※グラフはKLAの単点分析ダッシュボード「推移」機能から算出、対前年比(道内外の内訳含む)は独自に算出

*1：前年は2019/12/29～2020/1/11の1日平均、今年は2020/12/29～2021/1/11の1日平均にて増減率を算出

*2：来訪者内訳(道内/外)を表示。来訪者の居住地が対象スポットと同一の都道府県の場合には「道内」、そうでない場合には「道外」と定義。

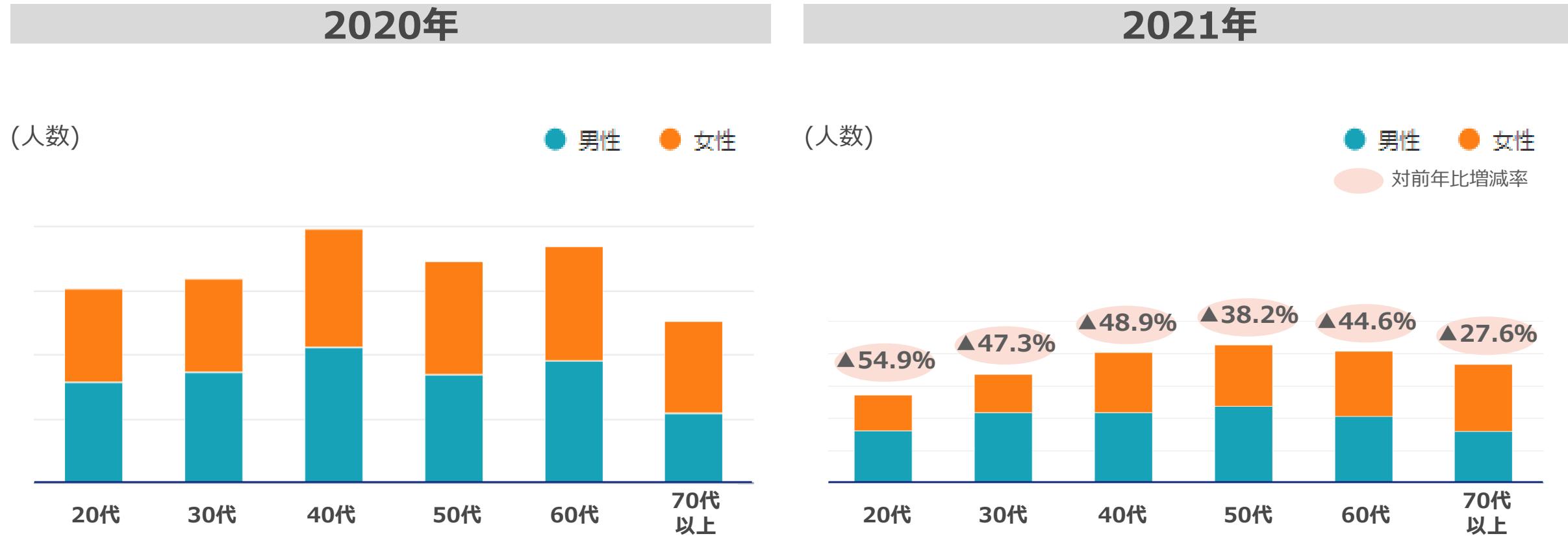




函館駅周辺の来訪者属性 | 性別×年代

24

前年よりも各年代減少しているが、特に20代の減少が顕著であった。



※グラフはKLAの来訪者属性分析「サマリー(性別×年代)」機能から算出



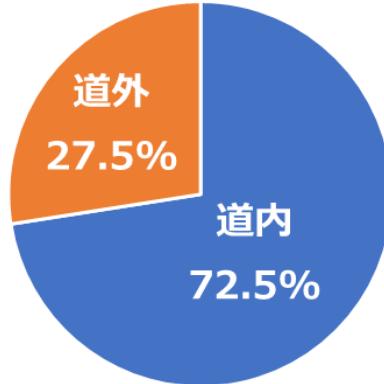


函館駅周辺の来訪者属性 | 来訪者の居住エリア分布

25

今年の来訪者全体に対し、道外の割合が12.3%以下と前年より減少している。前年の来訪TOP5の都道府県に対し、対前年比42.1%以上の減少となつた。

来訪者の
居住エリア
の内訳^{*1}



2020年

道外の居住エリアTOP5

1	東京都
2	神奈川県
3	青森県
4	千葉県
5	埼玉県

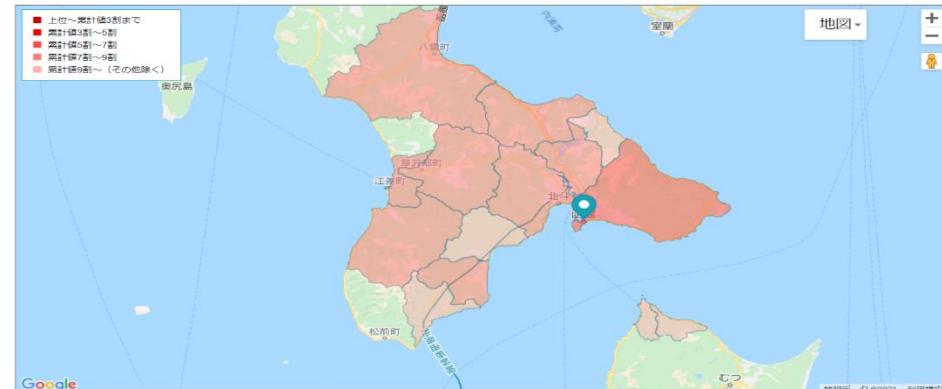
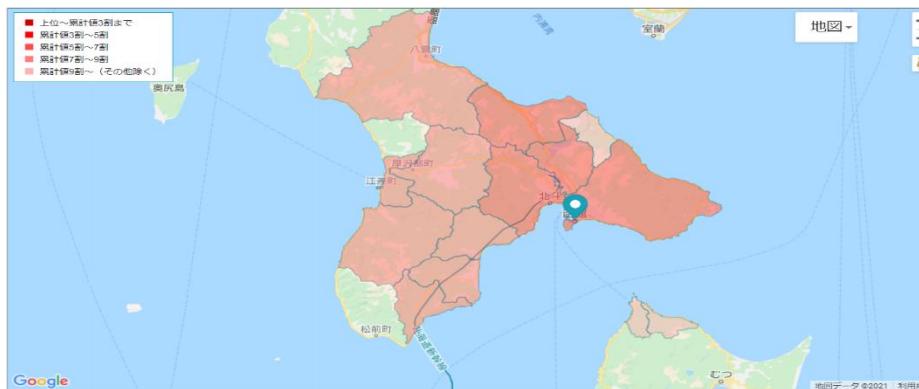
2021年

前年の道外TOP5の増減状況

東京都	▲62.3%
神奈川県	▲65.4%
青森県	▲79.7%
千葉県	▲63.8%
埼玉県	▲42.1%

※北海道は対前年比▲19.3% (ただし函館市在住の来訪者も含む)

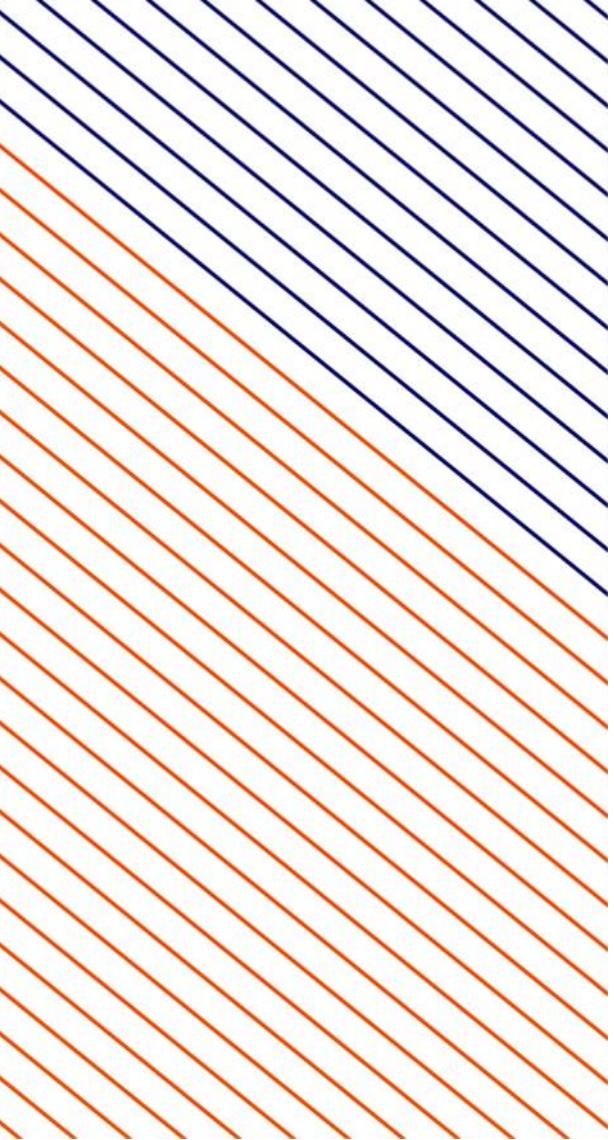
来訪者の
居住エリア
分布



※円グラフ、TOP5、対前年増減状況はKLAからダウンロードしたCSVデータより独自に算出、エリア分布はKLAの来訪者居住地分析から算出



*1：来訪の内訳(道内/外)を表示。来訪者の居住地が対象スポットと同一の都道府県の場合には「道内」、そうでない場合には「道外」と定義



4 – 2. 浅草雷門周辺 (東京都台東区)





浅草雷門周辺の集計範囲およびその他情報

27

浅草雷門周辺における集計エリアは地図上の赤枠箇所を対象とした。

集計対象エリア



※集計対象エリアはKLAの「フリーハンド」で指定

集計情報

集計期間

前年：2019/12/29～2020/1/11
今年：2020/12/29～2021/1/11

集計対象者

対象エリアに来訪し
15分以上滞在

集計単位

1日単位

集計方法

全人口の拡大推計値に変換

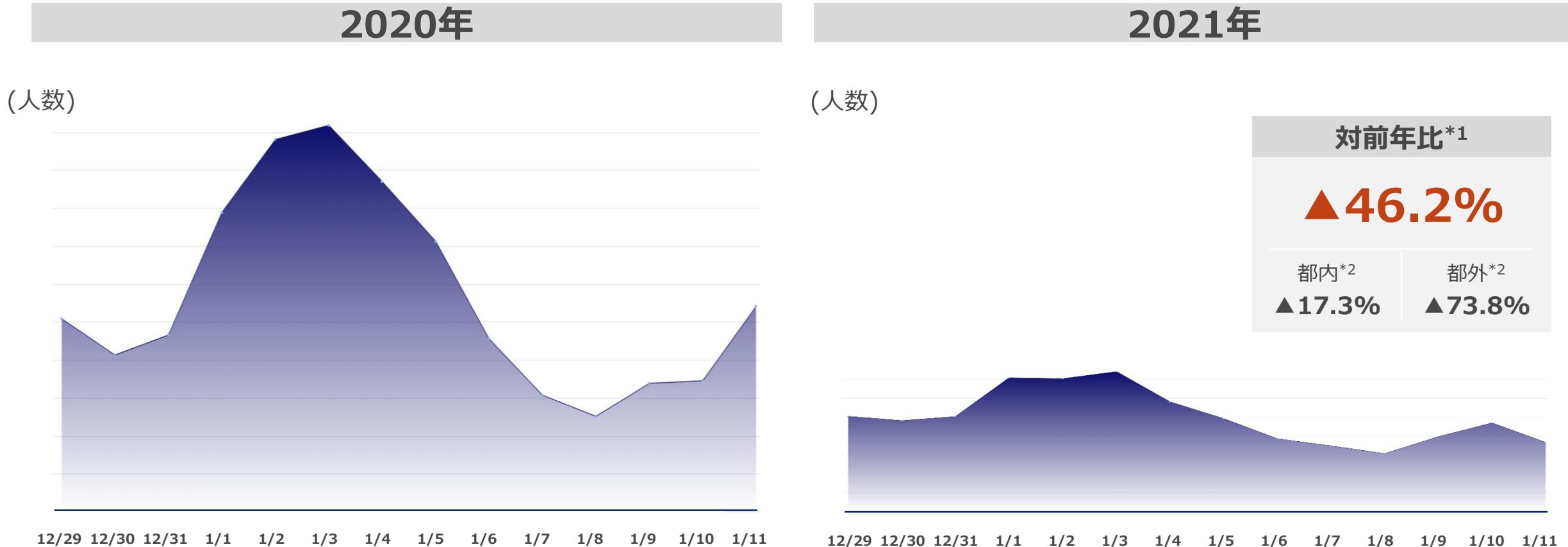




浅草雷門周辺における人流推移

28

浅草雷門周辺を前年と比較すると、**来訪者全体で46.2%減**、また**都外からの来訪者が73.8%減**と大幅に減少していた。



※グラフはKLAの単点分析ダッシュボード「推移」機能から算出、対前年比(道内外の内訳含む)は独自に算出

*1：前年は2019/12/29～2020/1/11の1日平均、今年は2020/12/29～2021/1/11の1日平均にて増減率を算出

*2：来訪者内訳(都内/外)を表示。来訪者の居住地が対象スポットと同一の都道府県の場合には「都内」、そうでない場合には「都外」と定義。

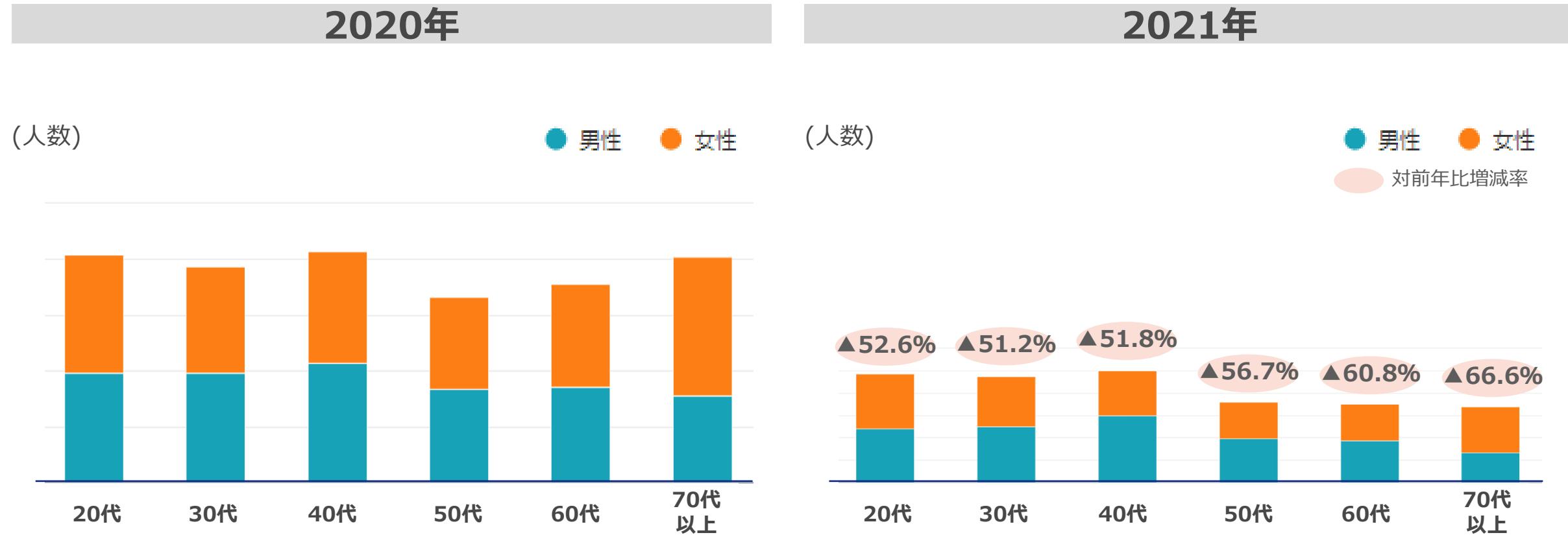




浅草雷門周辺の来訪者属性 | 性別×年代

29

前年よりも各年代減少しており、年代ごとの増減率に大きな差はない。



※グラフはKLAの来訪者属性分析「サマリー(性別×年代)」機能から算出



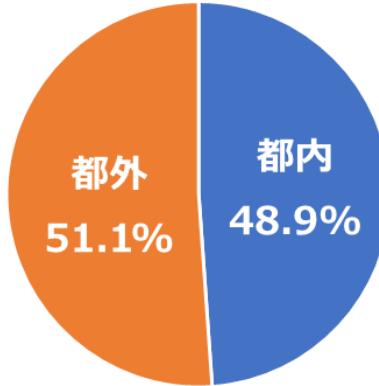


浅草雷門周辺の来訪者属性 | 来訪者の居住エリア分布

30

今年の来訪者全体に対し、都外の割合が24.9%以下と前年より減少している。前年の来訪TOP5の都道府県に対し、対前年比62.3%以上の減少となつた。

来訪者の
居住エリア
の内訳^{*1}

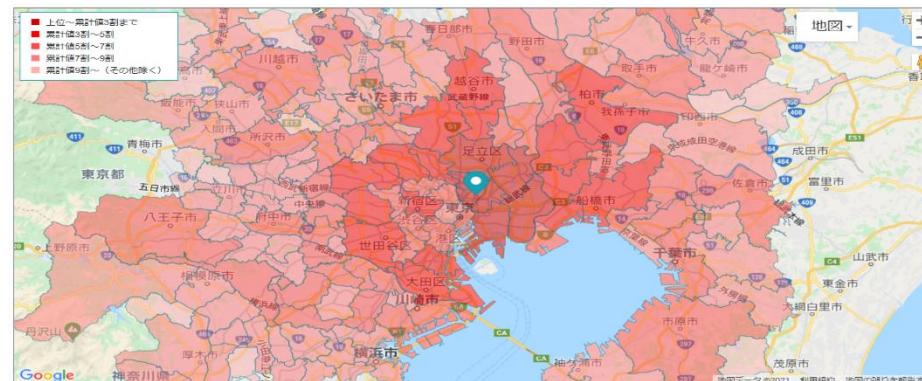


2020年

都外の居住エリアTOP5

1	埼玉県
2	千葉県
3	神奈川県
4	茨城県
5	栃木県

来訪者の
居住エリア
分布

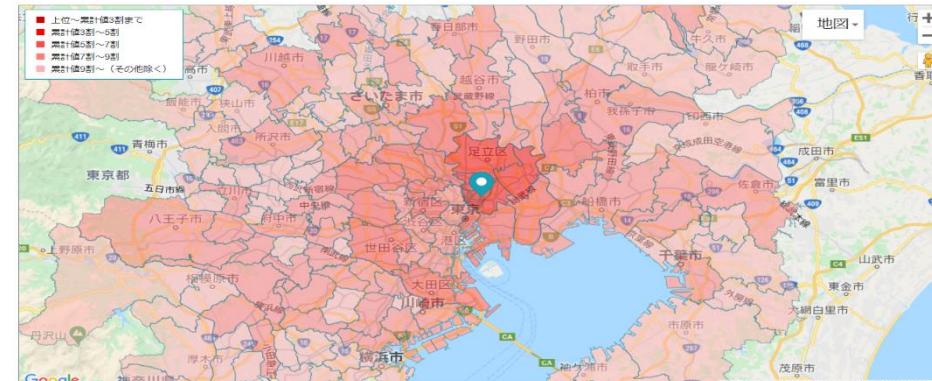


2021年

前年の都外TOP5の増減状況

埼玉都	▲65.9%
千葉県	▲65.6%
神奈川県	▲62.3%
茨城県	▲84.6%
栃木県	▲93.0%

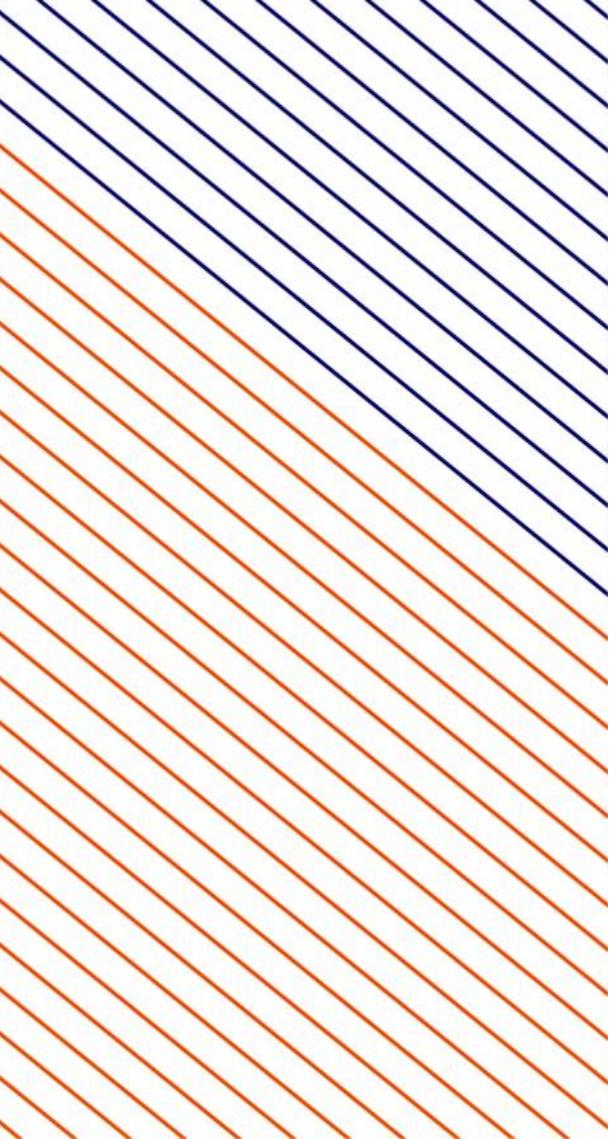
※東京都は対前年比▲17.3% (ただし台東区在住の来訪者も含む)



※円グラフ、TOP5、対前年増減状況はKLAからダウンロードしたCSVデータより独自に算出、エリア分布はKLAの来訪者居住地分析から算出



*1：来訪の内訳(都内/外)を表示。来訪者の居住地が対象スポットと同一の都道府県の場合には「都内」、そうでない場合には「都外」と定義



4 – 3. 箱根湯本駅周辺

(神奈川県足柄下郡箱根町)





箱根湯本駅周辺の集計範囲およびその他情報

32

箱根湯本駅周辺における集計エリアは地図上の赤枠箇所を対象とした。

集計対象エリア



※集計対象エリアはKLAの「フリーハンド」で指定

集計情報

集計期間

前年：2019/12/29～2020/1/11
今年：2020/12/29～2021/1/11

集計対象者

対象エリアに来訪し
15分以上滞在

集計単位

1日単位

集計方法

全人口の拡大推計値に変換

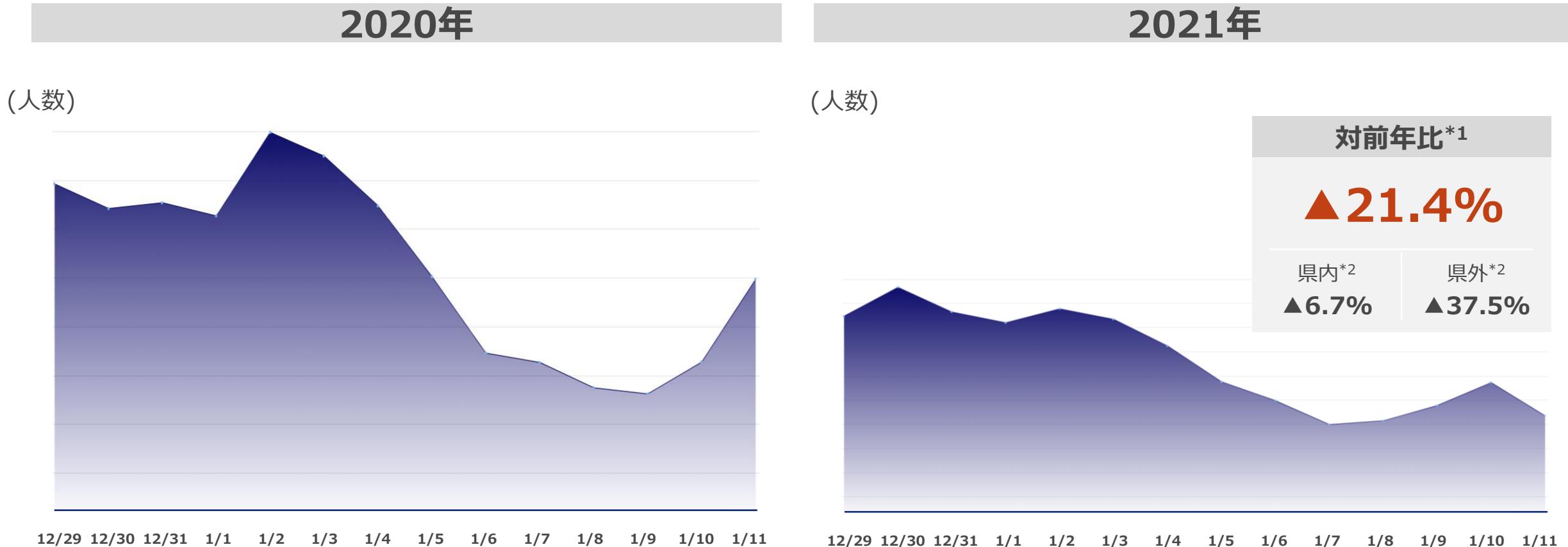




箱根湯本駅周辺における人流推移

33

箱根湯本駅周辺を前年と比較すると、**来訪者全体で21.4%減**、また**県外からの来訪者が37.5%減**と減少していた。



※グラフはKLAの単点分析ダッシュボード「推移」機能から算出、対前年比(道内外の内訳含む)は独自に算出



*1：前年は2019/12/29～2020/1/11の1日平均、今年は2020/12/29～2021/1/11の1日平均にて増減率を算出

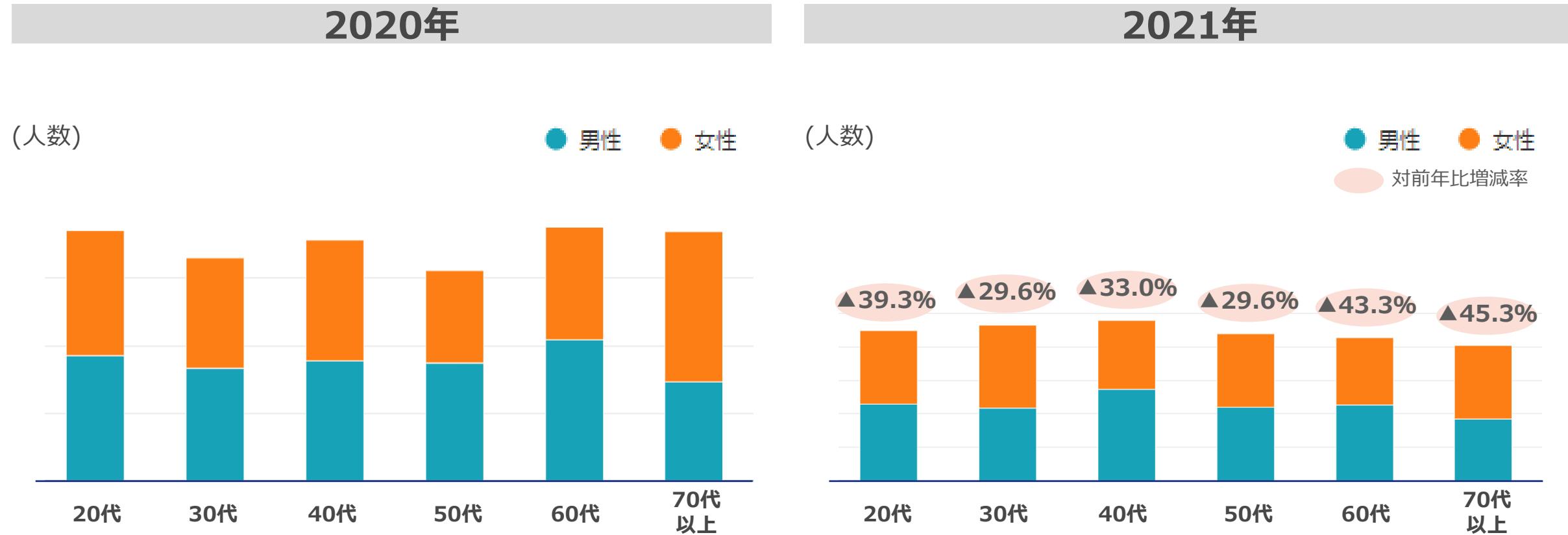
*2：来訪者内訳(県内/外)を表示。来訪者の居住地が対象スポットと同一の都道府県の場合には「県内」、そうでない場合には「県外」と定義。



箱根湯本駅周辺の来訪者属性 | 性別×年代

34

前年よりも各年代減少しているが、特に60代・70代以上の減少が顕著であった。



※グラフはKLAの来訪者属性分析「サマリー(性別×年代)」機能から算出



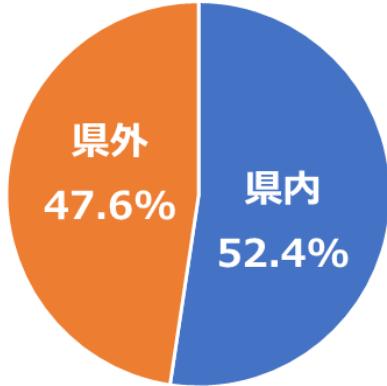


箱根湯本駅周辺の来訪者属性 | 来訪者の居住エリア分布

35

今年の来訪者全体に対し、県外の割合が37.8%以下と前年よりやや減少している。前年の来訪TOP5の都道府県に対し、対前年比25.9%以上の減少となった。

来訪者の
居住エリア
の内訳^{*1}



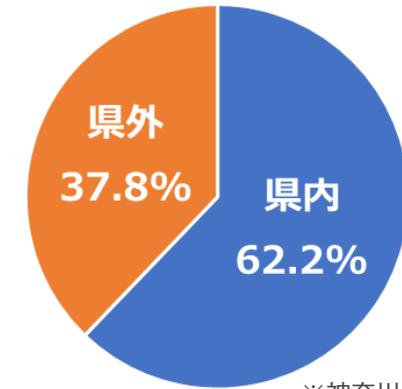
2020年

県外の居住エリアTOP5

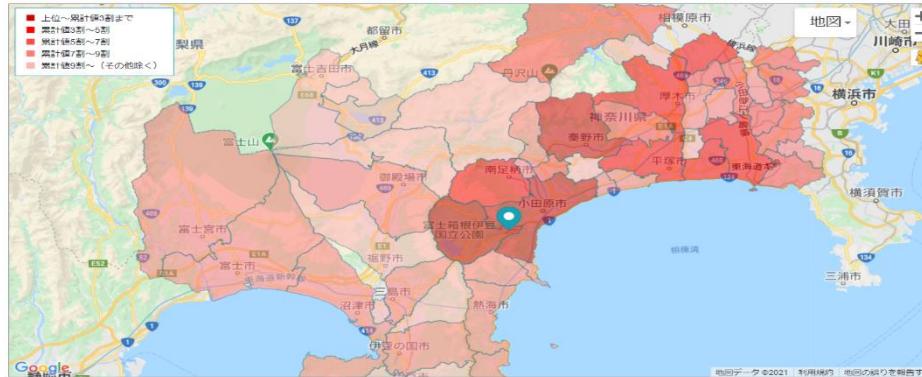
1	東京都
2	埼玉県
3	千葉県
4	静岡県
5	愛知県

2021年

前年の県外TOP5の増減状況



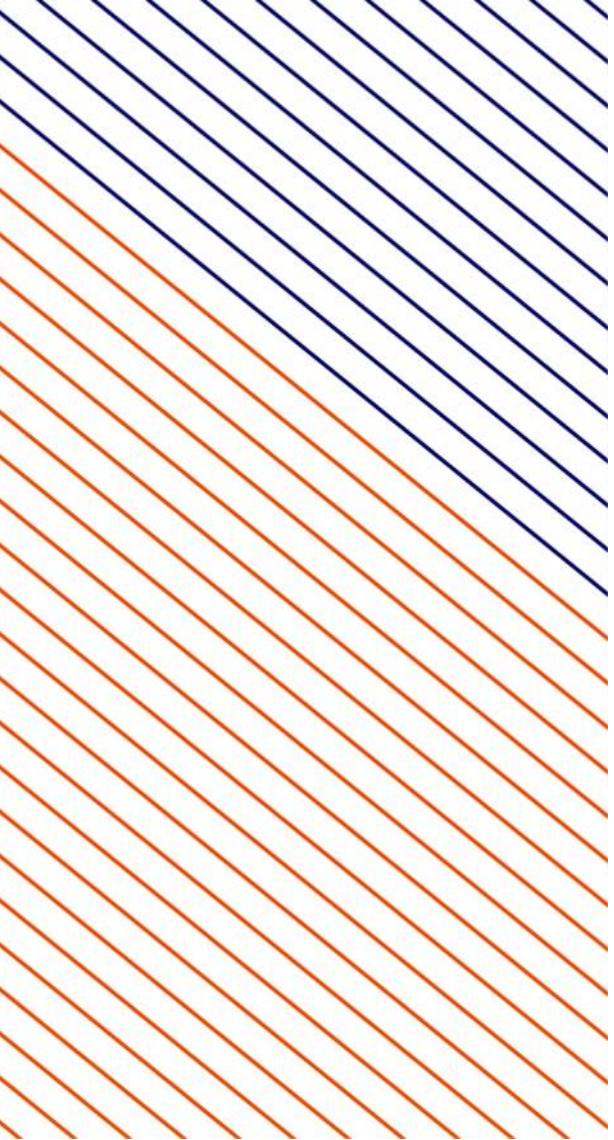
来訪者の
居住エリア
分布



※円グラフ、TOP5、対前年増減状況はKLAからダウンロードしたCSVデータより独自に算出、エリア分布はKLAの来訪者居住地分析から算出



*1：来訪の内訳(県内/外)を表示。来訪者の居住地が対象スポットと同一の都道府県の場合には「県内」、そうでない場合には「県外」と定義



4 – 4. 伊勢神宮周辺 (三重県伊勢市)





伊勢神宮周辺の集計範囲およびその他情報

37

伊勢神宮周辺における集計エリアは地図上の赤枠箇所を対象とした。

集計対象エリア



※集計対象エリアはKLAの「フリーハンド」で指定

集計情報

集計期間

前年：2019/12/29～2020/1/11
今年：2020/12/29～2021/1/11

集計対象者

対象エリアに来訪し
15分以上滞在

集計単位

1日単位

集計方法

全人口の拡大推計値に変換

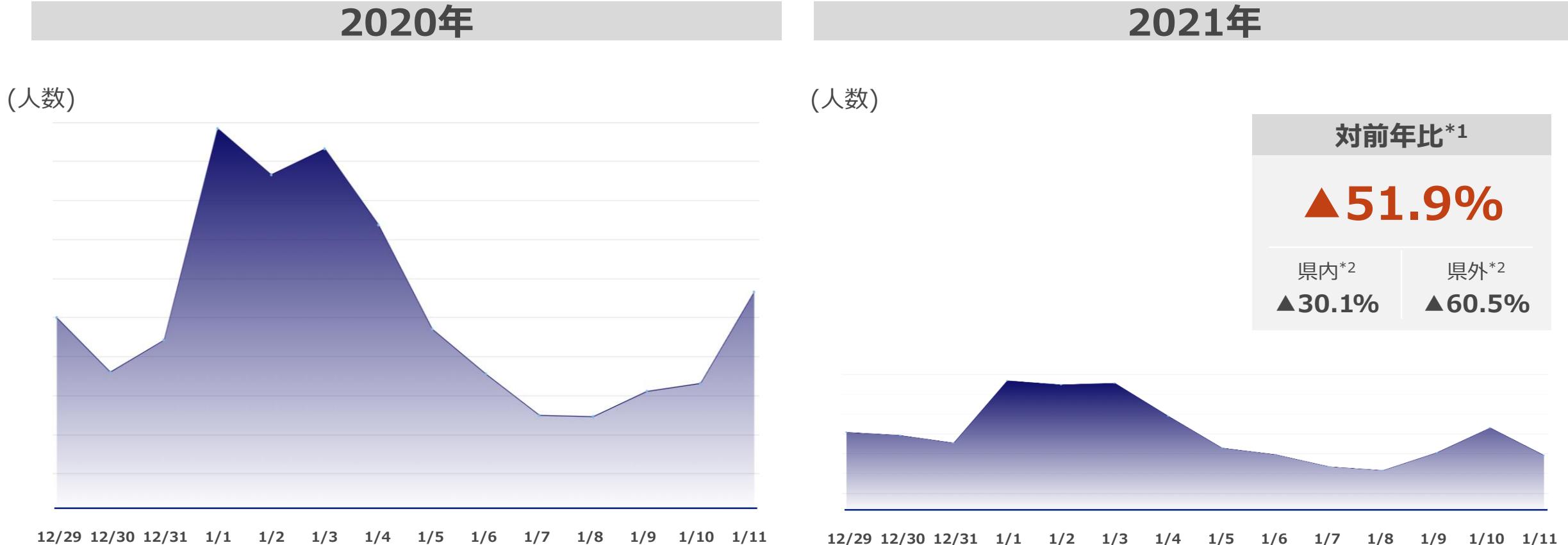




伊勢神宮周辺における人流推移

38

伊勢神宮周辺を前年と比較すると、**来訪者全体で51.9%減と半減**していた。



※グラフはKLAの単点分析ダッシュボード「推移」機能から算出、対前年比(道内外の内訳含む)は独自に算出

*1：前年は2019/12/29～2020/1/11の1日平均、今年は2020/12/29～2021/1/11の1日平均にて増減率を算出

*2：来訪者内訳(県内/外)を表示。来訪者の居住地が対象スポットと同一の都道府県の場合には「県内」、そうでない場合には「県外」と定義。

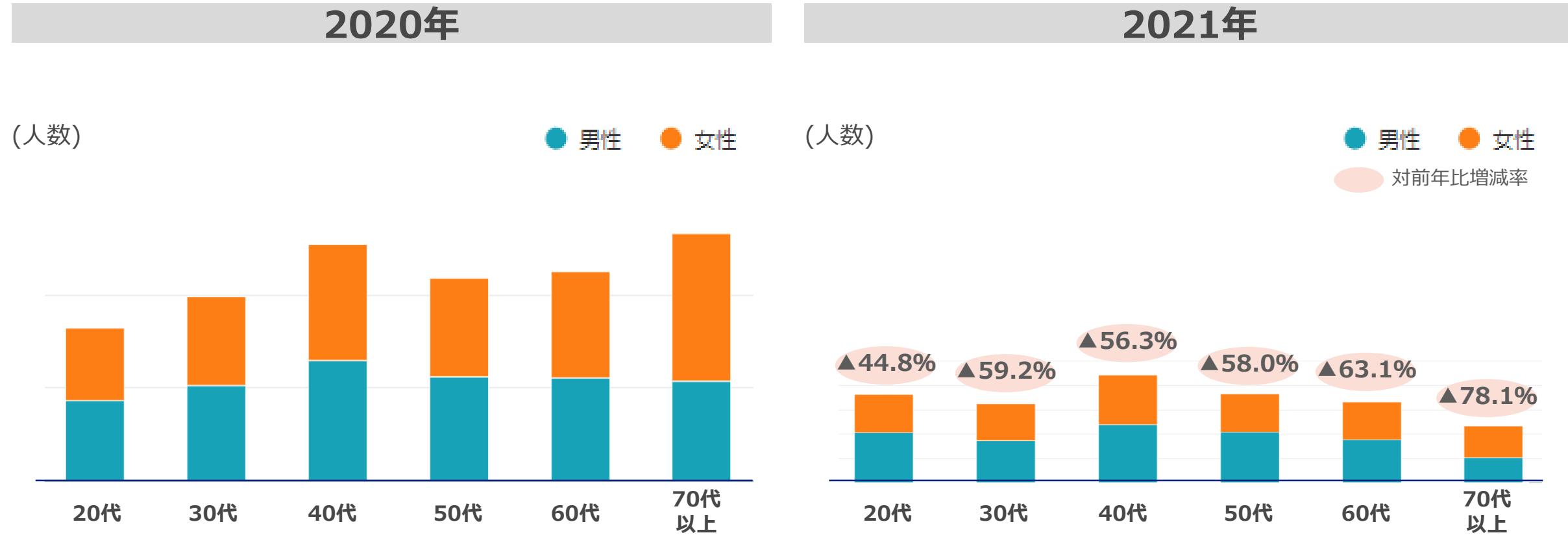




伊勢神宮周辺の来訪者属性 | 性別×年代

39

前年よりも各年代減少しているが、特に60代・70代以上の減少が顕著であった。



※グラフはKLAの来訪者属性分析「サマリー(性別×年代)」機能から算出



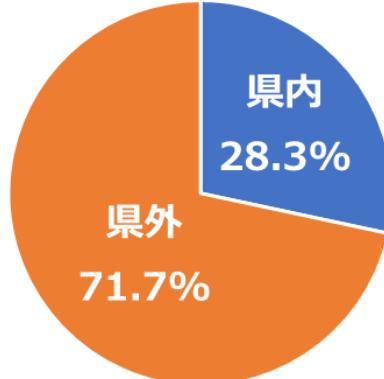


伊勢神宮周辺の来訪者属性 | 来訪者の居住エリア分布

40

今年の来訪者全体に対し、県外の割合が58.8%以下と前年よりやや減少している。前年の来訪TOP5の都道府県に対し、対前年比48.5%以上の減少となった。

来訪者の
居住エリア
の内訳^{*1}



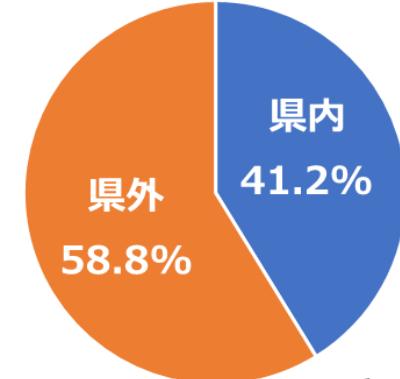
2020年

県外の居住エリアTOP5

1	愛知県
2	大阪府
3	岐阜県
4	東京都
5	兵庫県

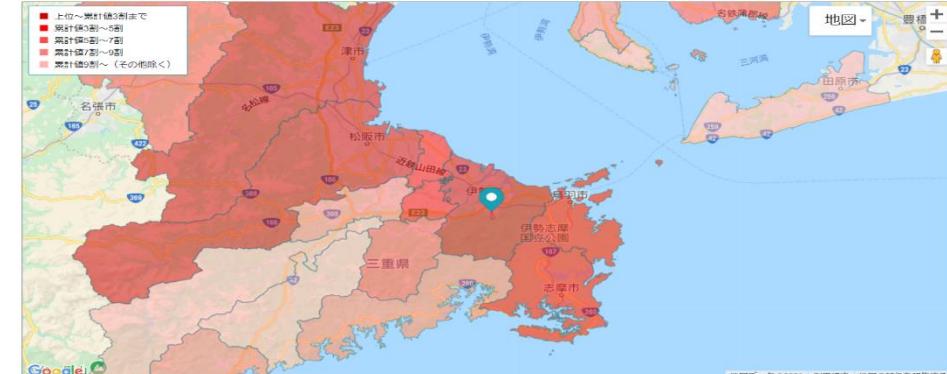
2021年

前年の県外TOP5の増減状況



※三重県は対前年比▲30.1%（ただし伊勢市在住の来訪者も含む）

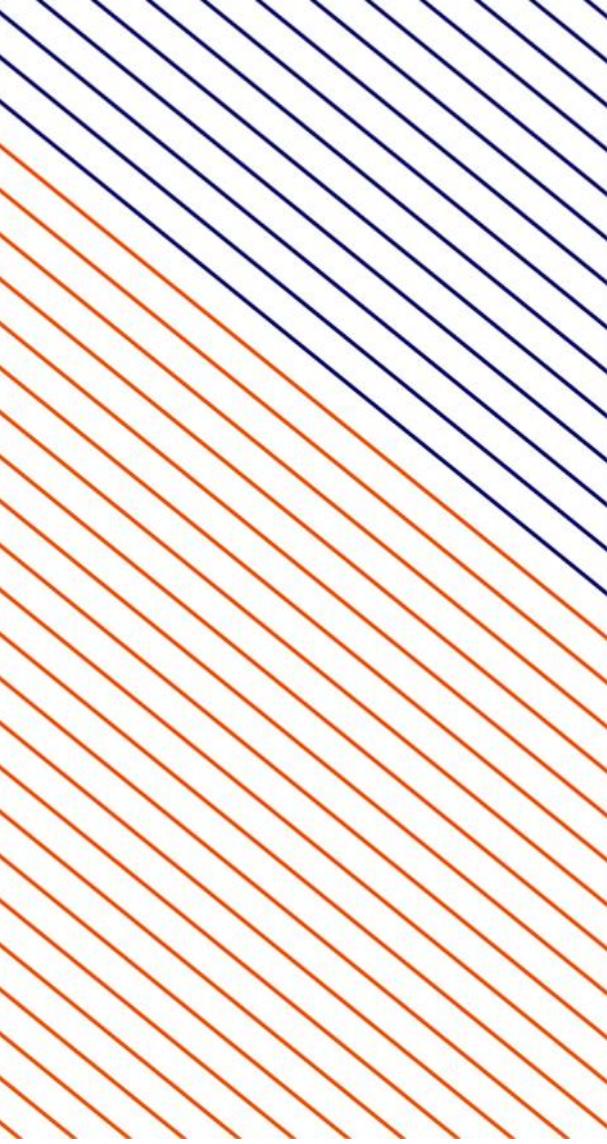
来訪者の
居住エリア
分布



※円グラフ、TOP5、対前年増減状況はKLAからダウンロードしたCSVデータより独自に算出、エリア分布はKLAの来訪者居住地分析から算出



*1：来訪の内訳(県内/外)を表示。来訪者の居住地が対象スポットと同一の都道府県の場合には「県内」、そうでない場合には「県外」と定義



4 – 5. 道後温泉周辺 (愛媛県松山市)





道後温泉周辺の集計範囲およびその他情報

42

道後温泉周辺における集計エリアは地図上の赤枠箇所を対象とした。

集計対象エリア



※集計対象エリアはKLAの「フリーハンド」で指定

集計情報

集計期間

前年：2019/12/29～2020/1/11
今年：2020/12/29～2021/1/11

集計対象者

対象エリアに来訪し
15分以上滞在

集計単位

1日単位

集計方法

全人口の拡大推計値に変換

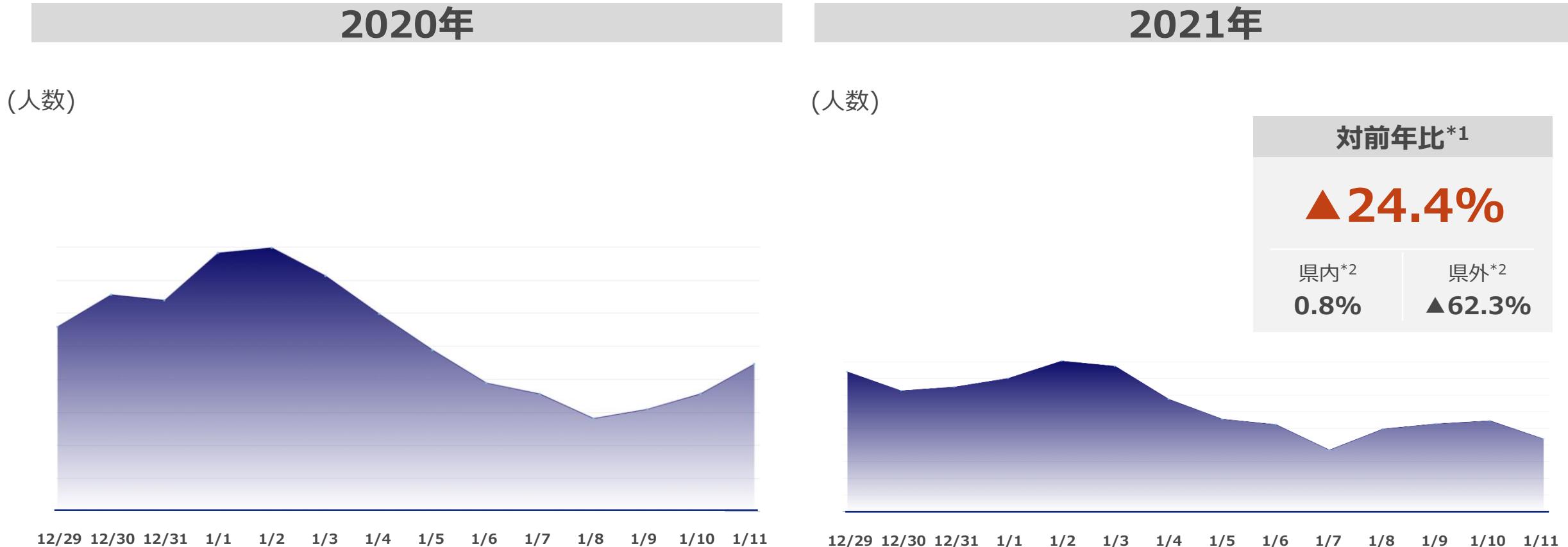




道後温泉周辺における人流推移

43

道後温泉周辺を前年と比較すると、**来訪者全体で24.4%減、県外からの来訪者が62.3%減**であったが、**県内からの来訪者は昨年同等**であった。



※グラフはKLAの単点分析ダッシュボード「推移」機能から算出、対前年比(道内外の内訳含む)は独自に算出

*1：前年は2019/12/29～2020/1/11の1日平均、今年は2020/12/29～2021/1/11の1日平均にて増減率を算出

*2：来訪者内訳(県内/外)を表示。来訪者の居住地が対象スポットと同一の都道府県の場合には「県内」、そうでない場合には「県外」と定義。

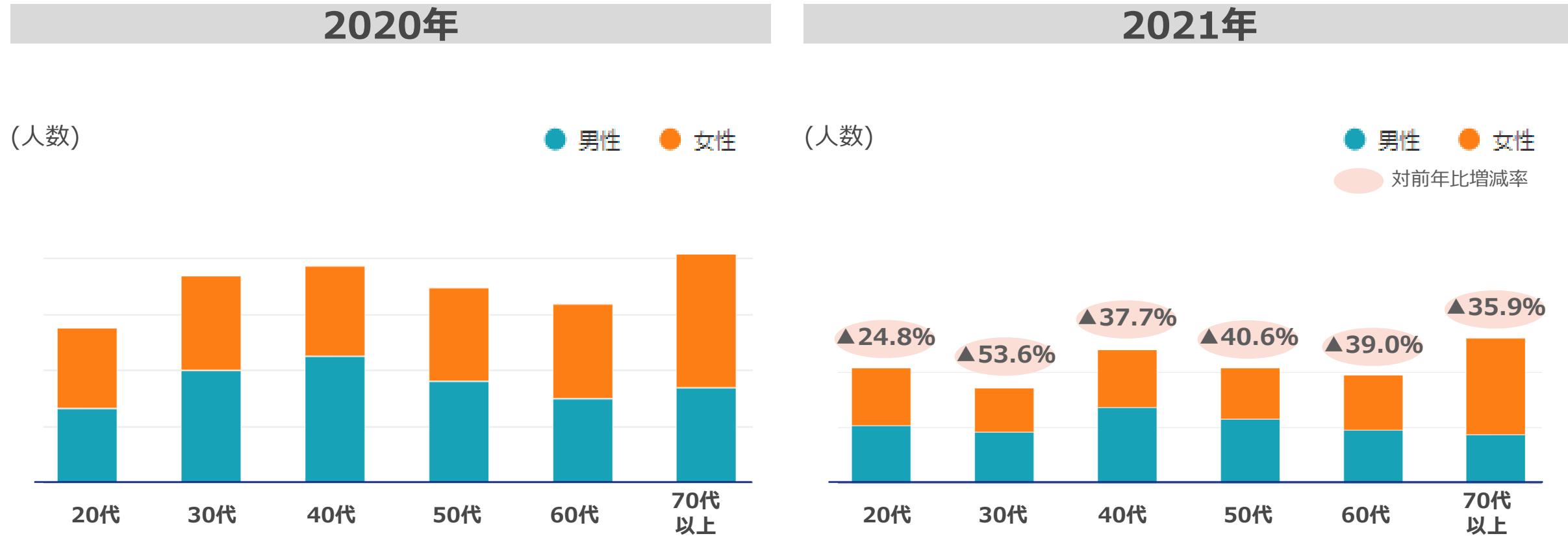




道後温泉周辺の来訪者属性 | 性別×年代

44

前年よりも各年代減少しているが、特に30代の減少が顕著であった。



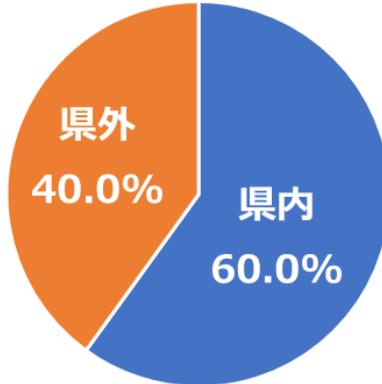


道後温泉周辺の来訪者属性 | 来訪者の居住エリア分布

45

今年の来訪者全体に対し、県外の割合が20.0%以下と前年よりやや減少している。前年の来訪TOP5の都道府県に対し、対前年比37.9%以上の減少となった。

来訪者の
居住エリア
の内訳^{*1}



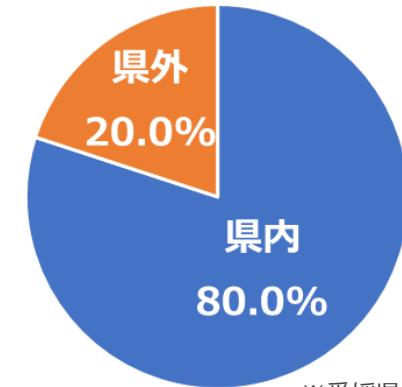
2020年

県外の居住エリアTOP5

1	広島県
2	大阪府
3	東京都
4	兵庫県
5	岡山県

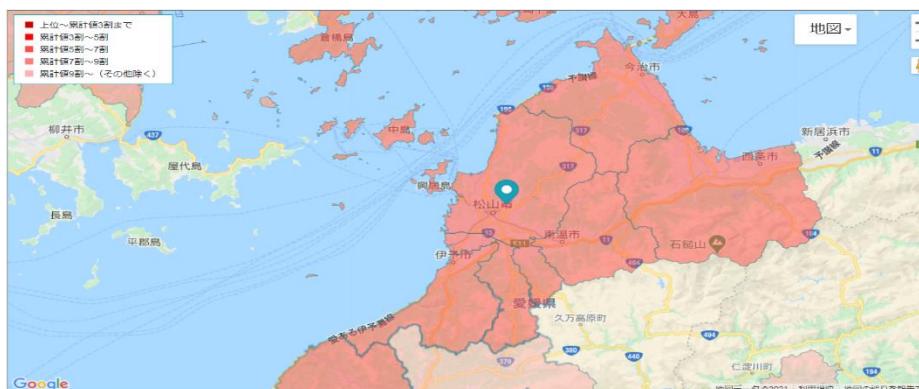
2021年

前年の県外TOP5の増減状況



※愛媛県は対前年比0.8% (ただし松山市内在住の来訪者も含む)

来訪者の
居住エリア
分布



※円グラフ、TOP5、対前年増減状況はKLAからダウンロードしたCSVデータより独自に算出、エリア分布はKLAの来訪者居住地分析から算出



*1：来訪の内訳(県内/外)を表示。来訪者の居住地が対象スポットと同一の都道府県の場合には「県内」、そうでない場合には「県外」と定義

Tomorrow, Together



おもしろいほうの未来へ。

ARISE
analytics

